

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| 科目名 動物飼養管理総論Ⅰ (愛玩動物飼養管理学) | 教員名 平元 尚人 | | | | | | |
|--|---|----------------|------|-----|-----|------------------|----------------|
| 科目時間数 : 30 時間 | 授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習 | | | | | | |
| 必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択 | 配当学年 : 1 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中 | | | | | | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 動物全体への理解を深め、またそれらに伴う、法律や責任、社会的役割などを学び、動物を取り扱う職業につくための基礎を身に着けて、愛玩動物飼養管理士試験の合格を目指す。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 人と動物の関係学や、動物関係法令を課題報告問題、過去問題集を事例にしなから一問の選択肢一つ一つを解説していく。全111問中選択肢が5つあるので約555問について、考察や実際にあった事例を踏まえ、教科書により進めていく。</p> <p>【授業における達成課題】 課題報告問題及び過去問題集の正答率が80%以上 愛玩動物飼養管理士試験 合格</p> | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 40%;">使用教材</th> <th style="width: 30%;">出版社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">学生用</td> <td style="padding: 5px;">愛玩動物飼養管理士2級、1巻2巻</td> <td style="padding: 5px;">公益社団法人日本愛玩動物協会</td> </tr> </tbody> </table> | | 使用教材 | 出版社 | 学生用 | 愛玩動物飼養管理士2級、1巻2巻 | 公益社団法人日本愛玩動物協会 |
| | 使用教材 | 出版社 | | | | | |
| 学生用 | 愛玩動物飼養管理士2級、1巻2巻 | 公益社団法人日本愛玩動物協会 | | | | | |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</p> <p>【内 容】 ペットショップ販売員（動物取扱責任者）の経験がある。愛玩動物飼養管理士1級資格所持。</p> <p>【評価方法とその内容】 課題報告問題における正答率80%以上</p> <p>【必要な予習等の内容】 授業で解説を行う問題の前後5問のページ番号および解説の書き込みを指示し実行する</p> | | | | | | | |

| 科目名 動物飼養管理総論Ⅰ（愛玩動物飼養管理学） | | 科目時間総数 30 | 時間 | 教員名 平元 尚人 |
|-----------------------------|--------------------|---|----|--------------|
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | | |
| 1 | オリエンテーション | 愛玩動物飼養管理士2級の資格合格を目指し、最終的に何が身についていけばよいかを具体的にイメージする | | |
| 2 | 愛玩動物飼養管理士の社会活動について | 愛玩動物飼養管理士の活動とそれらの歴史、運用機関を理解し、課題報告問題を解くことができる | | |
| 3 | 動物愛護論 | 動物愛護の歴史、動物観、思想を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 4 | 人と動物の関係学 | 人と動物の関係、思想、動物の効用を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 5 | 動物関係法令概説 | 法令の施行基準、法律の定められた生き物、制定経緯を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 6 | 動物関係法令概説 | 法令の施行基準、法律の定められた生き物、制定経緯を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 7 | 動物関係法令概説 | 法律の目的、基本原則、普及啓発を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 8 | 動物関係法令概説 | 法律の目的、基本原則、普及啓発を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 9 | 動物関係法令概説 | 保管に関する基準、家庭動物に関する基準、展示動物に関する基準を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 10 | 動物関係法令概説 | 保管に関する基準、家庭動物に関する基準、展示動物に関する基準を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 11 | 動物関係法令概説 | 第一種、第二種動物取扱業の基準、周辺環境の保全、罰則を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 12 | 動物関係法令概説 | 第一種、第二種動物取扱業の基準、周辺環境の保全、罰則を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 13 | 動物関係法令概説 | 第一種、第二種動物取扱業の基準、周辺環境の保全、罰則を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 14 | 課題報告問題 | 課題報告問題をすべて解き、マークシート提出をできるようにもれなく記入をする。 | | |
| 15 | 動物の体の仕組みと働き | 細胞小器官、筋肉、消化酵素、各種臓器を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 16 | 動物の体の仕組みと働き | 細胞小器官、筋肉、消化酵素、各種臓器を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 17 | 動物の飼養管理 | 犬の習性、病因論、健康と疾病の関連性を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 18 | 動物の飼養管理 | 犬の習性、病因論、健康と疾病の関連性を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 19 | 動物の飼養管理 | 消毒薬、環境衛生、飼養衛生、管理衛生、公衆衛生を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 20 | 動物の飼養管理 | 消毒薬、環境衛生、飼養衛生、管理衛生、公衆衛生を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 21 | 動物の飼養管理 | 事故への対応、災害への備え、血統書、犬の分類と歴史を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 22 | 動物の飼養管理 | 事故への対応、災害への備え、血統書、犬の分類と歴史を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 23 | 動物の飼養管理 | 犬の特徴、犬との生活、犬の発情を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 24 | 動物の飼養管理 | 犬の特徴、犬との生活、犬の発情を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 25 | 動物の飼養管理 | 動物の習性、特徴を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 26 | 動物の飼養管理 | 動物の習性、特徴を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 27 | 動物の飼養管理 | 動物の習性、特徴を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 28 | 動物のしつけ | 動物の学習、条件付け、刷り込みを理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 29 | 動物のしつけ | 動物の社会化、しつけ、猫の適切な飼養を理解し課題報告問題を解くことができる | | |
| 30 | 総復習 | 愛玩動物飼養管理士における重要点を理解し課題報告問題及び、過去問題集を解くことができる | | |

授業計画表

ペット美容トリマー

学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | |
|--|--|--------|
| 科目名 動物飼養管理総論Ⅰ (健康管理学Ⅰ) | 教員名 高坂 恵梨香 | |
| 科目時間数 : 40 時間 | 授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習 | |
| 必修・選択の別 : 必修・選択 | 配当学年 : 1 開講時期 : 前期・後期・集中 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 犬のステージに合わせた健康管理の仕方について説明し実行できる</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 犬の健康管理の仕方について学ぶ</p> <p>【授業における達成課題】 健康管理の仕方について説明し実行できる 筆記試験で正答が60%以上</p> | | |
| | 使用教材 | 出版社 |
| 学生用 | コンパニオンアニマルの健康管理学 | インターズー |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 有 ・ 無</p> <p>【内 容】 動物病院で動物看護師として勤務経験がある</p> <p>【評価方法とその内容】 筆記試験で正答率60%以上、授業出席率80%</p> <p>【必要な予習等の内容】 次回授業に向けて教科書を一読することを指示して実行する</p> | | |

| 科目名 動物飼養管理総論Ⅰ（健康管理学） | | 科目時間総数 40 | 時間 | 教員名 高坂 恵梨香 |
|-------------------------|-------------------|--|----|---------------|
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | | |
| 1 回 | 犬猫の日常の健康管理 | バイタルサイン（T・P・R・CRT）の測り方、基準値を覚えて言えるようになる | | |
| 2 回 | 犬猫の日常の健康管理 | 排尿、排便の正常・異常を理解する | | |
| 3 回 | 犬猫の日常の健康管理 | ブラッシング、シャンプーについての基本を理解する。 | | |
| 4 回 | 犬猫の日常の健康管理 | 耳・目の手入れ、爪切り、肛門腺絞りについての基本を理解する。 | | |
| 5 回 | 犬猫の日常の健康管理 | 歯の構造・分類・歯式・萌出時期を理解する。 | | |
| 6 回 | 犬猫の日常の健康管理 | 幼犬や猫で注意する口腔内疾患を理解する。 | | |
| 7 回 | 犬猫の日常の健康管理 | 正常咬合、不正咬合について理解する。 | | |
| 8 回 | 犬猫の日常の健康管理 | 代表的な口腔疾患である齲歯、歯周病について原因と予防法を理解する | | |
| 9 回 | 犬猫の日常の健康管理 | 犬猫の歯磨きの仕方を理解し、飼い主さんへアドバイスできるようになる | | |
| 10 回 | 犬猫の日常の健康管理 | 歯石除去のおおまかな流れ、方法を理解する | | |
| 11 回 | 犬猫の日常の健康管理 まとめ | 日常の健康管理についての確認テストにより理解を深める | | |
| 12 回 | 狂犬病について | 狂犬病予防法について理解する | | |
| 13 回 | 狂犬病について | 狂犬病の原因となる病原体、感染経路、症状について理解する | | |
| 14 回 | 狂犬病について | 狂犬病の予防のポイントを理解する | | |
| 15 回 | ワクチンについて | ワクチンの定義・意義、種類（生・不活化）を理解する | | |
| 16 回 | ワクチンについて | ワクチン接種時と接種後の注意を理解する | | |
| 17 回 | ワクチンについて | ワクチン接種プログラムについて理解する | | |
| 18 回 | ワクチンについて | 犬猫のワクチンで予防できる病気を理解する | | |
| 19 回 | 去勢・避妊手術 | 避妊・去勢手術の方法、適期、手術を行うメリット・デメリットを理解する | | |
| 20 回 | 犬糸状虫症 | 寄生動物、寄生部位、ライフサイクルについて理解する | | |
| 21 回 | 犬糸状虫症 | 症状、診断、治療、予防について理解する | | |
| 22 回 | 去勢、避妊等のまとめ | 去勢・避妊手術、犬糸状虫症についての確認テストにより理解を深める | | |
| 23 回 | 外部寄生虫 | ノミ・マダニ・犬毛包虫のライフサイクル、症状、予防法について理解する | | |
| 24 回 | 外部寄生虫 | ノミ・マダニ・犬毛包虫のライフサイクル、症状、予防法について理解する | | |
| 25 回 | 外部寄生虫 | ヒゼンダニ、ミミヒゼンダニ、ツメダニ、ハジラミのライフサイクル、症状、予防法について理解する | | |
| 26 回 | 外部寄生虫まとめ | 外部寄生虫についての確認テストで理解を深める | | |
| 27 回 | 腸管内寄生虫 | 回虫、鉤虫、鞭虫のライフサイクル、症状、予防法について理解する | | |
| 28 回 | 腸管内寄生虫 | 幼虫移行症の症状、予防法について理解する | | |
| 29 回 | 腸管内寄生虫 | 犬条虫、猫条虫、マンソン裂頭条虫のライフサイクル、症状、予防法について理解する | | |
| 30 回 | 腸管内寄生虫 | コクシジウム、腸トリコモナス、ジアルジアの症状、感染経路、予防法について理解する | | |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|------|---------------|----------------------------------|
| 31 回 | 腸管内寄生虫まとめ | 腸管内寄生虫についての確認テストにより理解を深める |
| 32 回 | 栄養学の基本的知識 | 五大栄養素、動物のエネルギー要求量について理解する |
| 33 回 | 栄養学の基本的知識 | 安静時エネルギー要求量、1日のエネルギー要求量の求め方を理解する |
| 34 回 | 感染症とその予防 | 感染症とは何か、また感染の形態を理解する |
| 35 回 | 感染症とその予防 | 感染経路、感染症の予防法について理解する |
| 36 回 | 滅菌法と消毒法 | 滅菌と消毒の定義、方法を理解する |
| 37 回 | 滅菌法と消毒法 | 各消毒薬の特徴を理解する |
| 38 回 | 滅菌法と消毒法 | 書毒薬の希釈方法を理解する |
| 39 回 | 感染症等のまとめ | 感染症・予防、滅菌・消毒法についての確認テストにより理解を深める |
| 40 回 | 健康管理学総まとめ | 確認テストにより理解を深める |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | |
|---|---|-----|
| 科目名 動物飼養管理総論 I (飼育学 I) | 教員名 市村 香織 | |
| 科目時間数 : 30 時間 | 授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習 | |
| 必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択 | 配当学年 : 1 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 犬と人間の違いを知り、成犬を心身共に健康的に飼育管理する知識を身に付ける。</p> <p>【ペット美容トリマー科ディプロマポリシーとの関連】 1. 基礎となるグルーミング技術が身についている 2. 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている <input checked="" type="checkbox"/> 3. 飼い主とペットの生活について総合的なアドバイスができるレベルが身についている 4. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる 5. 働くということへの心構えができている</p> <p>【授業全体の内容の概要】 犬の成長過程、犬のニーズを満たす飼育管理法、飼い主の責任と義務について、座学形式で授業を受け、知識を身に付ける。</p> <p>【授業における達成課題】 筆記試験において80%以上の正答する。 成犬の飼育管理に関すること「犬の成長」「食事」「運動」「環境」「社会的関わり」「性的欲求」の質問に答えることができる。 一般飼い主が知るべき法律やマナーを知り、指導ができる。</p> | | |
| | 使用教材 | 出版社 |
| 学生用 | プリント等 | |
| 【教員担当の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 | | |
| 【内 容】 ドッグトレーナー | | |
| 【評価方法とその内容】 筆記試験において正答が80%以上、授業出席率80%以上。 | | |
| 【必要な予習等の内容】 配布資料（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。 | | |

| 科目名 動物飼養管理総論Ⅰ□飼育学Ⅰ | | 科目時間総数 30 | 時間 | 教員名 市村 香織 |
|-----------------------|----------------|---|----|--------------|
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | | |
| 1回 | 学校の飼育当番について | 学校の飼育当番の手順を説明できる。 | | |
| 2回 | 学校の飼育当番について | 学校の飼育当番の手順を説明できる。 | | |
| 3回 | 人と犬の違い 目・耳 | 犬の認識しづらい色、動体視力、興奮しやすい音について説明できる | | |
| 4回 | 人と犬の違い 食性と味覚 | 犬の食性や味の好みを理解し、答えることができる | | |
| 5回 | 人と犬の違い 思考 | 犬の思考について理解し、説明できる | | |
| 6回 | 人と犬の違い 言葉 | 犬のコミュニケーションツールを理解し、説明できる | | |
| 7回 | 犬の成長 | 新生児～幼年期までに、犬にどんな成長が見られるか説明できる。犬が親兄弟から学ぶ重要な項目を3つ説明できる。 | | |
| 8回 | 犬の成長 | 少年期～成年期までに、犬にどんな成長が見られるか説明できる。社会化とは何かを説明できる。 | | |
| 9回 | 犬の成長 | 高齢期について、犬にどんな変化が見られるか説明できる。 | | |
| 10回 | 犬具 首輪 | 首輪の種類を理解し、説明できる | | |
| 11回 | 犬具 リード | リードの種類を理解し、説明できる | | |
| 12回 | 犬具 コング | コングの使い方を理解し、正しい使い方ができる | | |
| 13回 | 5つの自由 犬のニーズ | 5つの自由とは何か説明できる。 犬のニーズとは何か答えることができる。 | | |
| 14回 | 飼い主の義務とマナー | 飼い主の義務、マナーを答えることができる。 | | |
| 15回 | 飼い主の義務とマナー | 飼い主として必要なことは何か説明できる。 | | |
| 16回 | 犬の飼育 環境 | 成犬を適切に飼育する環境を理解し、室内飼育のメリットを説明できる。 | | |
| 17回 | 犬の飼育 環境 | 成犬を適切に飼育する環境を理解し、湿度・室温・寝床を作るポイントを説明できる | | |
| 18回 | 犬の飼育 環境 | 成犬を適切に飼育する環境を理解し、飼育環境を整えることができる。 | | |
| 19回 | 犬の飼育 食事 | 犬の食事のタイプを3つ理解し、特徴を説明できる。 | | |
| 20回 | 犬の飼育 食事 | 犬の食事を楽しくする工夫を理解し、実践できる。 食事をたべなかった時の対処について説明できる。 | | |
| 21回 | 犬の飼育 散歩 | 散歩の効果を説明できる。散歩をする際の注意点を3つ以上答えることができる。 | | |
| 22回 | 犬の飼育 運動 | オモチャの選び方、管理の仕方を説明し、実践できる | | |
| 23回 | 犬の飼育 運動 | ドッグランの使用の注意点について説明できる。 | | |
| 24回 | 犬の飼育 運動 | 安全にドッグランを使うポイントを説明できる。 | | |
| 25回 | 犬の飼育 災害の対策 | 災害の対策について、犬の避難グッズを答えることができる。 | | |
| 26回 | 犬の飼育 災害の対策 | 災害の対策について、飼い主がすべきことを答えることができる。 | | |
| 27回 | 犬の飼育 性的欲求 | 犬の避妊手術の効果を理解できる。メリット、デメリットを答えることができる。 | | |
| 28回 | 犬の飼育 性的欲求 | 犬の去勢手術の効果を理解できる。メリット、デメリットを答えることができる。 | | |
| 29回 | 学校動物の飼育 | 犬の飼育方法を理解し、学校犬の飼育を適切にできる。 | | |
| 30回 | 学校動物の飼育 | 犬の飼育方法を理解し、学校犬の飼育を適切にできる。 | | |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | | | | | | |
|---|--|-----|------|-----|-----|-------|--|
| 科目名 ペットビジネス教養 I (飼育実習) | 教員名 市村 香織 | | | | | | |
| 科目時間数 : 50 時間 | 授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ <input checked="" type="radio"/> 実習 | | | | | | |
| 必修・選択の別 : <input checked="" type="radio"/> 必修・選択 | 配当学年 : 1 開講時期 : <input checked="" type="radio"/> 前期・ <input checked="" type="radio"/> 後期・集中 | | | | | | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 学校動物の飼育の中から、飼い主の気持ちを知るとともに、適切な動物の飼育の仕方や適切な扱い方を身に付ける。 他者とコミュニケーションを取りながら、作業を進めるために必要な能力を身に付ける。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 <input checked="" type="radio"/> 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 <input checked="" type="radio"/> 5 働くという事への心構えができている。 <p>【授業全体の内容の概要】 学校犬、猫、小動物の飼育法について、上級学生から学びながら、同学年の学生同士で学校動物の飼育管理を行う。</p> <p>【授業における達成課題】 学校にいる動物について基本的な飼育ができる。</p> | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%; text-align: center;">使用教材</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">出版社</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">学生用</td> <td style="padding: 5px;">プリント等</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </table> | | 使用教材 | 出版社 | 学生用 | プリント等 | |
| | 使用教材 | 出版社 | | | | | |
| 学生用 | プリント等 | | | | | | |
| 【教員担当の実務経験の有無】 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 | | | | | | | |
| 【内 容】 ドッグトレーナーとしての勤務経験がある | | | | | | | |
| 【評価方法とその内容】 授業出席率80%以上。 | | | | | | | |
| 【必要な予習等の内容】 配布資料（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。 | | | | | | | |

| 科目名 ペットビジネス教養 I (飼育実習) | | 科目時間総数 50 時間 | 教員名 市村 香織 |
|---------------------------|---------------|--|--------------|
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 回 | 服装 | 動物を飼育する際の服装について、理解する。 | |
| 2 回 | 掃除 | 床の拭き方、ぞうきんの絞り方、ほうきの扱いかたを学ぶ。適切な消毒方法を理解する。 | |
| 3 回 | イヌの飼育 | イヌとの接し方を理解し、イヌとあいさつし、警戒されない方法を理解する。 | |
| 4 回 | ネコの飼育 | ネコとの接し方を理解し、ネコとあいさつし、警戒されない方法を理解しする。 | |
| 5 回 | 小動物の飼育 | 小動物との接し方を理解し、小動物とあいさつし、警戒されない方法を理解する。 | |
| 6 回 | イヌの飼育 | 犬の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。 | |
| 7 回 | イヌの飼育 | 犬の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。 | |
| 8 回 | ネコの飼育 | ネコの飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。 | |
| 9 回 | ネコの飼育 | ネコの飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。 | |
| 10 回 | 小動物の飼育 | 小動物の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。 | |
| 11 回 | 小動物の飼育 | 小動物の飼育に必要となる道具を理解し、つかいこなせるようになる。 | |
| 12 回 | イヌの飼育 | イヌの体の構造を理解し、実際の犬を観察し。体がどのように動くかを知る。 | |
| 13 回 | ネコの飼育 | ネコの体の構造を理解し、実際の犬を観察し。体がどのように動くかを知る。 | |
| 14 回 | 小動物の飼育 | 小動物の体の構造を理解し、実際の犬を観察し。体がどのように動くかを知る。 | |
| 15 回 | イヌの飼育 | イヌの体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。 | |
| 16 回 | イヌの飼育 | イヌの体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。 | |
| 17 回 | ネコの飼育 | ネコの体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。 | |
| 18 回 | ネコの飼育 | ネコの体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。 | |
| 19 回 | 小動物の飼育 | 小動物の体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。 | |
| 20 回 | 小動物の飼育 | 小動物の体の構造を理解し、抱っこをする、保定する方法を身に付ける。 | |
| 21 回 | イヌの飼育 | イヌの食事について理解を深める。食事の与え方を学び、実際の犬の飼育に使用する | |
| 22 回 | イヌの飼育 | イヌの運動について理解を深める。運動の仕方を学ぶ。 | |
| 23 回 | イヌの飼育 | イヌの運動について理解を深める。運動の仕方を学び、実際の犬の飼育に使用する。 | |
| 24 回 | イヌの飼育 | イヌの運動について理解を深める。おもちゃの扱い方を学ぶ。 | |
| 25 回 | イヌの飼育 | イヌの運動について理解を深める。おもちゃの扱い方を学び、実際の犬の飼育に使用する。 | |
| 26 回 | イヌの飼育 | イヌの休息について理解を深める。イヌがいる環境設定について学ぶ。 | |
| 27 回 | イヌの飼育 | イヌの休息について理解を深める。イヌがいる環境設定について学び、実際の犬の飼育に使用する。 | |
| 28 回 | イヌの飼育 | イヌとの関わり方について理解を深める。良い関係を築くために、どのような方法があるかを知る。 | |
| 29 回 | イヌの飼育 | イヌとの関わり方について理解を深める。良い関係を築くために、どのような方法があるかを知り、実際の犬の飼育に使用する。 | |
| 30 回 | イヌの飼育 | イヌの健康管理について理解を深める。異常と正常の違いを知る。 | |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|---------|---------------|---|
| 31 回 | イヌの飼育 | イヌの健康管理について理解を深める。異常と正常の違いを知り、実際の犬の飼育に使用する。 |
| 32 回 | イヌの飼育 | イヌの健康管理について理解を深める。健康維持をするために、どのようなボディケアが必要かを理解する。 |
| 33 回 | イヌの飼育 | イヌの健康管理について理解を深める。健康維持をするために、どのようなボディケアが必要かを理解し、実際の犬の飼育に使用する。 |
| 34 回 | ネコの飼育 | ネコの食事について理解を深める。食事の与え方を学び、実際の猫の飼育に使用する |
| 35 回 | ネコの飼育 | ネコの運動について理解を深める。運動の仕方を学ぶ。 |
| 36 回 | ネコの飼育 | ネコの運動について理解を深める。運動の仕方を学び、実際の猫の飼育に使用する。 |
| 37 回 | ネコの飼育 | ネコの運動について理解を深める。おもちゃの扱い方を学ぶ。 |
| 38 回 | ネコの飼育 | ネコの運動について理解を深める。おもちゃの扱い方を学び、実際の猫の飼育に使用する。 |
| 39 回 | ネコの飼育 | ネコの休息について理解を深める。猫がいる環境設定について学ぶ。 |
| 40 回 | ネコの飼育 | ネコの休息について理解を深める。ネコがいる環境設定について学び、実際の猫の飼育に使用する。 |
| 41 回 | ネコの飼育 | ネコとの関わり方について理解を深める。良い関係を築くために、どのような方法があるかを知る。 |
| 42 回 | ネコの飼育 | ネコとの関わり方について理解を深める。良い関係を築くために、どのような方法があるかを知り、実際の猫の飼育に使用する。 |
| 43 回 | ネコの飼育 | ネコの健康管理について理解を深める。異常と正常の違いを知る。 |
| 44 回 | ネコの飼育 | ネコの健康管理について理解を深める。異常と正常の違いを知り、実際の猫の飼育に使用する。 |
| 45 回 | ネコの飼育 | ネコの健康管理について理解を深める。健康維持をするために、どのようなボディケアが必要かを理解する。 |
| 46 回 | ネコの飼育 | ネコの健康管理について理解を深める。健康維持をするために、どのようなボディケアが必要かを理解し、実際の猫の飼育に使用する。 |
| 47 回 | 小動物の飼育 | 小動物の食事について理解を深める。食事の与え方を学び、実際の飼育に使用する |
| 48 回 | 小動物の飼育 | 小動物の運動について理解を深める。運動の仕方を学ぶ。 |
| 49 回 | 小動物の飼育 | 小動物の運動について理解を深める。運動の仕方を学び、実際の飼育に使用する。 |
| 50 回 | 指導について | 後輩に飼育の仕方を指導できるように、指導のポイントを理解する。 |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科
盛岡ペットワールド専門学校

| | | | |
|--|---|------|---|
| 科目名 | 動物看護学Ⅰ (解剖生理学) | 教員名 | 柴野 梓 |
| 科目時間数： | 20 | 時間 | 授業の種類： <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習 |
| 必修・選択 の別： | <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択 | 配当学年 | 1 開講時期： 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期・集中 |
| <p>【授業の目的・ねらい】 犬の体の構造、機能を理解し生体を扱う上での作業、管理を適切に行えるようになるのがねらい</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 耳について・耳の全体像の理解 犬の体の仕組みと機能について（骨格、耳、眼、口腔、皮膚、消化器、生殖器、循環器など）</p> <p>【授業における達成課題】 筆記試験において正答が80%以上</p> | | | |
| | 使用教材 | 出版社 | |
| 学生用 | プリント等 | | |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>【内容】 動物病院にて動物看護師として勤務経験がある</p> <p>【評価とその内容】 筆記試験において80%以上、授業出席率80%以上</p> <p>【必要な予習などの内容】 配布（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加することを指示し実行する</p> | | | |

| 科目名 動物看護学Ⅰ（解剖生理学） | | 科目時間総数 20 時間 | 教員名 柴野 梓 |
|----------------------|---------------|--|-------------|
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 回 | 解剖学を学ぶ目的 | 学校内・IS先・就職先で犬を扱う際に動物を扱ううえで無理なくコントロールすることができるように骨格を理解する。また各種臓器や関わる疾患を理解することで、動物の正常と異常をいち早く発見することができるよう解剖学の重要性を理解する。 | |
| 2 回 | 解剖学を学ぶ目的 | | |
| 3 回 | 骨について | 犬の各骨の名称と役割を理解する。 | |
| 4 回 | 骨について | 犬の各骨の名称と役割を理解する。 | |
| 5 回 | 骨の疾患 | 膝蓋骨脱臼・股関節形成不全・股関節脱臼・椎間板ヘルニア・環軸椎亜脱臼の疾患を理解する。 | |
| 6 回 | 消化器の役割 | 各消化器系の名称を知り、役割、異常と性状を理解する。 | |
| 7 回 | 消化器の異常について | 軟便・下痢・嘔吐・吐出について理解する。 | |
| 8 回 | 皮膚と皮膚の疾患について | 皮膚の機能と役割を知る。皮膚炎の進行・皮膚疾患について学び、扱いが難しいことを理解する。 | |
| 9 回 | 皮膚と皮膚の疾患について | 皮膚の機能と役割を知る。皮膚炎の進行・皮膚疾患について学び、扱いが難しいことを理解する。 | |
| 10 回 | 解剖生理学復習 | 確認のテストの実施により理解を深める | |
| 11 回 | 眼について | 犬の眼の各部の名称と役割を理解する。 | |
| 12 回 | 眼疾患 | 角膜炎・角膜潰瘍・白内障・緑内障について理解する。 | |
| 13 回 | 眼疾患 | 角膜炎・角膜潰瘍・白内障・緑内障について理解する。 | |
| 14 回 | 耳について | 犬の耳の各部名称と役割を理解する。 | |
| 15 回 | 耳疾患 | 外耳炎・中耳炎・耳血腫について理解する。 | |
| 16 回 | 口腔について | 犬の歯の名称（歯数）、口腔内の各部名称（粘膜）と役割を理解する。 | |
| 17 回 | 口腔内疾患 | 歯周病・乳歯遺残・口腔内腫瘍・不正咬合・歯瘻・口鼻瘻管について理解する。 | |
| 18 回 | 心臓について | 心臓の解剖を理解する。 | |
| 19 回 | 心疾患 | 心臓の解剖を理解し、犬に多い心疾患を理解する。 | |
| 20 回 | 解剖生理学復習 | 確認のテストの実施により理解を深める | |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| 科目名 グルーミング学 (グルーミング理論) | 教員名 天瀬 恵美子 | | | | | | |
|---|--|-----------|------|-----|-----|--------------------------|-----------|
| 科目時間数: 30 時間 | 授業の種類: <input checked="" type="checkbox"/> 講義 · <input checked="" type="checkbox"/> 演習 · 実習 | | | | | | |
| 必修・選択の別: <input checked="" type="checkbox"/> 必修 選択 | 配当学年: 1 開講時期: <input checked="" type="checkbox"/> 前期 · 後期 · 集中 | | | | | | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 モデル犬での実習を行う前に基本的犬の扱い方、道具の使い方、作業の仕方を学ぶ。またか受付の仕方などモデル犬実習に必要な内容を学ぶ。 生体実習でケガ事故の無いようにスムーズに行えるようになるのがねらい。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 ④ 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 手順と道具の使い方 受付、お返しの仕方</p> <p>【授業における達成課題】 筆記試験にて正答率80%以上</p> | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 40%;">使用教材</th> <th style="width: 30%;">出版社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">学生用</td> <td style="padding: 5px;">ドッググルーマーズプロフェッショナルワークブック</td> <td style="padding: 5px;">エデュワードプレス</td> </tr> </tbody> </table> | | 使用教材 | 出版社 | 学生用 | ドッググルーマーズプロフェッショナルワークブック | エデュワードプレス |
| | 使用教材 | 出版社 | | | | | |
| 学生用 | ドッググルーマーズプロフェッショナルワークブック | エデュワードプレス | | | | | |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 · 無</p> <p>【内容】 ドッグカフェにてトリマーとして勤務経験がある</p> | | | | | | | |
| <p>【評価とその内容】 筆記試験にて正答率80%以上、実技試験の合格、授業出席率80%以上</p> | | | | | | | |
| <p>【必要な予習などの内容】 次回に向けて、教科書に目を通し予習することを指示して実行する</p> | | | | | | | |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 教員名 |
|-----------------------|-----------------------|---|--------|
| グルーミング学 (グルーミング理論) | | 30 | 天瀬 恵美子 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 | オリエンテーション | 科目の概要 | |
| 2 | グルーミング理論の必要性 | 動議づけ AAV資格の説明と到達目標、スケジュールなど | |
| 3 | 犬体名称 骨格名称 | グルーミングとは何かを説明できる。 グルーミングで使う犬体名称を答えることができる。 犬の骨格や関節を理解できている。 | |
| 4 | グルーミング手順 | グルーミングの全体の流れを理解している。 | |
| 5 | グルーミング手順 道具の種類と使い方 | 犬体チェックの仕方と、必要な道具、チェックのポイントを説明できる。 | |
| 6 | グルーミング手順 道具の種類と使い方 | 爪切り、クリッピングの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。 | |
| 7 | グルーミング手順 道具の種類と使い方 | 爪切り、クリッピングの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。 | |
| 8 | グルーミング手順 道具の種類と使い方 | ブラッシング、コーミングの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。 | |
| 9 | グルーミング手順 道具の種類と使い方 | ブラッシング、コーミングの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。 | |
| 10 | グルーミング手順 道具の種類と使い方 | 耳そうじ、眼軟膏、肛門腺絞りの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。 | |
| 11 | グルーミング手順 道具の種類と使い方 | 耳そうじ、眼軟膏、肛門腺絞りの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。 | |
| 12 | シャンプーリンスの種類 ・仕方 | 各シャンプーの特徴、用法、用量を説明できる | |
| 13 | グルーミング手順 道具の種類と使い方 | シャンプーリンスの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。 | |
| 14 | グルーミング手順 道具の種類と使い方 | ドライの作業の仕方と使用する道具と使い方を説明できる。 | |
| 15 | グルーミング手順 道具の種類と使い方 | ハサミの持ち方、ひげきりと足回りのカットの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。 | |
| 16 | グルーミング手順 道具の種類と使い方 | ハサミの持ち方、ひげきりと足回りのカットの仕方と使用する道具と使い方を説明できる。 | |
| 17 | リボンの作り方 ・つけ方 | 小型犬用のリボンを1組(2個)実際に作れる | |
| 18 | リボンの作り方 ・つけ方 | 小型犬用のリボンを1組(2個)実際に作れる | |
| 19 | リボンの作り方 ・つけ方 | マネキン犬に作ったリボンをつけることができる マネキン犬のブラッシング | |
| 20 | 受付接客 | 事前準備の仕方と、受付の仕方を説明できる | |
| 21 | カルテの書き方 領収書の書き方 | カルテ書き、領収書書きを出来る。 | |
| 22 | 模擬受付 | 受付を、模擬で出来る。 | |
| 23 | お返し接客 | お返しの電話のかけ方とお返しの仕方を説明できる。 | |
| 24 | 実習室の掃除 | 実習室の掃除を適切にできる。 | |
| 25 | マネキンで模擬実習 | 手配表の読み取り～犬のお返しまでをマネキン犬で出来る。 | |
| 26 | マネキンで模擬実習 | 手配表の読み取り～犬のお返しまでをマネキン犬で出来る。 | |
| 27 | マネキンで模擬実習 | 手配表の読み取り～犬のお返しまでをマネキン犬で出来る。 | |
| 28 | マネキンで模擬実習 | 手配表の読み取り～犬のお返しまでをマネキン犬で出来る。 | |
| 29 | 実習後の掃除 | 実習室の掃除を表を見ながらできる。 | |
| 30 | グルーミング学まとめ | 最終確認 | |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 教員名 |
|-----------------|---------------|------------------------------|--------|
| =グルーミング実習 1 !B3 | | 168 | 天瀬 恵美子 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 回 | 見学 | 一連の作業手順が理解できるようになる | |
| 2 回 | | | |
| 3 回 | | | |
| 4 回 | 見学 | 一連の作業手順が理解できるようになる | |
| 5 回 | | | |
| 6 回 | | | |
| 7 回 | 見学 | 一連の作業手順が理解できるようになる | |
| 8 回 | | | |
| 9 回 | | | |
| 10 回 | 生体実習 | 先輩と協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 11 回 | | | |
| 12 回 | | | |
| 13 回 | 生体実習 | 先輩と協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 14 回 | | | |
| 15 回 | | | |
| 16 回 | 生体実習 | 作業の不明点が無いように、すべての作業を進める事ができる | |
| 17 回 | | | |
| 18 回 | | | |
| 19 回 | 生体実習 | 先輩と協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 20 回 | | | |
| 21 回 | | | |
| 22 回 | 生体実習 | 先輩と協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 23 回 | | | |
| 24 回 | | | |
| 25 回 | 生体実習 | 作業の不明点が無いように、すべての作業を進める事ができる | |
| 26 回 | | | |
| 27 回 | | | |
| 28 回 | 生体実習 | 作業の不明点が無いように、すべての作業を進める事ができる | |
| 29 回 | | | |
| 30 回 | | | |
| 31 回 | 生体実習 | 作業の不明点が無いように、すべての作業を進める事ができる | |
| 32 回 | | | |
| 33 回 | | | |
| 34 回 | 生体実習 | 1年生ペアで協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 35 回 | | | |
| 36 回 | | | |
| 37 回 | 生体実習 | 1年生ペアで協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 38 回 | | | |
| 39 回 | | | |
| 40 回 | 生体実習 | 1年生ペアで協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 41 回 | | | |
| 42 回 | | | |
| 43 回 | 生体実習 | 1年生ペアで協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 44 回 | | | |
| 45 回 | | | |
| 46 回 | 生体実習 | 1年生ペアで協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 47 回 | | | |
| 48 回 | | | |
| 49 回 | 生体実習 | 1年生ペアで協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 50 回 | | | |
| 51 回 | | | |
| 52 回 | 生体実習 | 1年生ペアで協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 53 回 | | | |
| 54 回 | | | |
| 55 回 | 生体実習 | 1年生ペアで協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 56 回 | | | |
| 57 回 | | | |
| 58 回 | 生体実習 | 1年生ペアで協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 59 回 | | | |
| 60 回 | | | |
| 61 回 | 生体実習 | 1年生ペアで協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 62 回 | | | |
| 63 回 | | | |
| 64 回 | 生体実習 | 1年生ペアで協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 65 回 | | | |
| 66 回 | | | |
| 67 回 | 生体実習 | 1年生ペアで協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 68 回 | | | |
| 69 回 | | | |
| 70 回 | 生体実習 | 1年生ペアで協力して、1頭の生体を仕上げる事ができる | |
| 71 回 | | | |
| 72 回 | | | |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|------|---------------|---------------------------|
| 73回 | 生体実習 | 1年生ペアで協力して、1頭の生体を仕上げるができる |
| 74回 | | |
| 75回 | | |
| 76回 | | |
| 77回 | | |
| 78回 | 生体実習 | 時間を意識しながら効率の良い作業の進め方ができる |
| 79回 | | |
| 80回 | | |
| 81回 | | |
| 82回 | | |
| 83回 | 生体実習 | 時間を意識しながら効率の良い作業の進め方ができる |
| 84回 | | |
| 85回 | | |
| 86回 | | |
| 87回 | | |
| 88回 | 生体実習 | 時間を意識しながら効率の良い作業の進め方ができる |
| 89回 | | |
| 90回 | | |
| 91回 | | |
| 92回 | | |
| 93回 | 生体実習 | 時間を意識しながら効率の良い作業の進め方ができる |
| 94回 | | |
| 95回 | | |
| 96回 | | |
| 97回 | | |
| 98回 | 生体実習 | 時間を意識しながら効率の良い作業の進め方ができる |
| 99回 | | |
| 100回 | | |
| 101回 | | |
| 102回 | | |
| 103回 | 生体実習 | 先輩と協力して、カットを含んだ生体の作業ができる。 |
| 104回 | | |
| 105回 | | |
| 106回 | | |
| 107回 | | |
| 108回 | 生体実習 | 先輩と協力して、カットを含んだ生体の作業ができる。 |
| 109回 | | |
| 110回 | | |
| 111回 | | |
| 112回 | | |
| 113回 | 生体実習 | 先輩と協力して、カットを含んだ生体の作業ができる。 |
| 114回 | | |
| 115回 | | |
| 116回 | | |
| 117回 | | |
| 118回 | 生体実習 | 先輩と協力して、カットを含んだ生体の作業ができる。 |
| 119回 | | |
| 120回 | | |
| 121回 | | |
| 122回 | | |
| 123回 | 生体実習 | 先輩と協力して、カットを含んだ生体の作業ができる。 |
| 124回 | | |
| 125回 | | |
| 126回 | | |
| 127回 | | |
| 128回 | 生体実習 | 先輩と協力して、カットを含んだ生体の作業ができる。 |
| 129回 | | |
| 130回 | | |
| 131回 | | |
| 132回 | | |
| 133回 | 生体実習 | 1人で1頭仕上げるができる |
| 134回 | | |
| 135回 | | |
| 136回 | | |
| 137回 | | |
| 138回 | 生体実習 | 1人で1頭仕上げるができる |
| 139回 | | |
| 140回 | | |
| 141回 | | |
| 142回 | | |
| 143回 | 生体実習 | 1人で1頭仕上げるができる |
| 144回 | | |
| 145回 | | |
| 146回 | | |
| 147回 | | |
| 148回 | 生体実習 | 1人で1頭仕上げるができる |
| 149回 | | |
| 150回 | | |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|--|---------------|---------------------------|
| 151回 152回 153回 154回 155回 156回 | 生体実習 | 1人で小型犬1頭を2時間以内に仕上げることができる |
| 157回 158回 159回 160回 161回 162回 | 生体実習 | 1人で小型犬1頭を2時間以内に仕上げることができる |
| 163回 164回 165回 166回 167回 168回 | 生体実習 | 1人で小型犬1頭を2時間以内に仕上げることができる |

授業計画表

ペット美容トリマー

学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | | |
|--|--|---------------|--|
| 科目名 | グルーミング学 (犬種総論) | 教員名 | 小松 里菜 |
| 科目時間数 : | 30 | 時間 | 授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習 |
| 必修・選択の別 : | <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択 | 配当学年 : | 1 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中 |
| <p>【授業の目的・ねらい】 JKCにおける人気犬種を理解し、市場の傾向や犬種ごとの特性を理解し、犬の飼育方法・遺伝性疾患の有無、被毛の特徴など学科ごとの特性と学習につなげる 血統書について説明できるようにする。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 JKCにおける第一グループから第十グループまですべての犬種について触れる。被毛の特徴、体長、性質、グルーミングの有無等を解説していく。犬種ごとのカラーや似ている犬種についての違いについて知る。体の仕組みを理解し、保定の仕方のポイントなどについて教える。</p> <p>【授業における達成課題】 口頭により、人気犬種TOP10について、体長・性質・飼育方法等について解説できる筆記試験で正答80%以上。</p> | | | |
| | 使用教材 | 出版社 | |
| 学生用 | 最新犬種図鑑 | 株式会社インターズー | |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</p> <p>【内 容】 ペットショップでトリマーとして勤務経験がある</p> <p>【評価方法とその内容】 筆記試験での正答率が90%以上 授業出席率80%以上</p> <p>【必要な予習等の内容】 次回の犬種グループにおいてページ数、体長等をプリントに書き留めておくことを指示し実行する</p> | | | |

| 科目名 グルーミング学（犬種総論Ⅰ） | | 科目時間総数 30 | 時間 | 教員名 小松 里菜 |
|-----------------------|---------------|--|----|--------------|
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | | |
| 1回 | オリエンテーション | 犬種を学ぶ意味とケネルクラブの意味を学び、血統書の意義を確認できる | | |
| 2回 | 血統書について | 血統書の読み方や名義変更について理解し説明することができる | | |
| 3回 | 血統書について | 血統書の読み方や名義変更について理解し説明することができる | | |
| 4回 | 人気犬種について | JKC登録頭数の多い犬種を理解し、登録数の多い理由について答えることができる | | |
| 5回 | 第一グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 6回 | 第一グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 7回 | 第一グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 8回 | 第二グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 9回 | 第二グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 10回 | 第二グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 11回 | 第三グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 12回 | 第三グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 13回 | 第三グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 14回 | 第四グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 15回 | 第五グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 16回 | 第五グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 17回 | 第六グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 18回 | 第六グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 19回 | 第七グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 20回 | 第七グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 21回 | 第八グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 22回 | 第八グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 23回 | 第九グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 24回 | 第九グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 25回 | 第九グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 26回 | 第十グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 27回 | 第十グループについて | グループの犬種について学び、その中の登録頭数の多い犬種について答えることができる | | |
| 28回 | 復習 | JKC 1～10グループについて復習をする | | |
| 29回 | 犬の毛色について | 犬の毛色について、基本的な色を学ぶ | | |
| 30回 | 犬の毛色について | 犬の毛色について、犬種特有の毛色を学ぶ | | |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | |
|---|--|------------|
| 科目名 グルーミング学 (造形美術) | 教員名 小倉 雅美 | |
| 科目時間数: 78 時間 | 授業の種類: <input checked="" type="checkbox"/> 講義 · <input checked="" type="checkbox"/> 演習 · <input checked="" type="checkbox"/> 実習 | |
| 必修・選択の別: <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択 | 配当学年: 1学年 開講時期: <input checked="" type="checkbox"/> 前期 · <input checked="" type="checkbox"/> 後期 · 集中 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 実際の犬のカットをする前に、座学でカットの仕方を学び、マネキン犬で実践し、本物の犬にカットを行う。ケガ事故の無いように安全に行うことと、時間の短縮がねらい。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 ・ 道具の扱い ・ 各犬種のペットカット（TP、マルチーズ、シーズー、ヨークー、シュナウザー、アメリカンコッカー等）</p> <p>【授業における達成課題】 各犬種のペットカットを理解し、イラストで描くことができる。 マネキン犬のカットを制限時間内で行うことができる。 筆記試験で正答80%以上、実技試験の合格。</p> | | |
| | 使用教材 | 出版社 |
| 講師用、学生用 | ドッググルーマーズプロフェッショナルワークブック | エデュワードプレス |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 · 無</p> <p>【内容】 トリマーとしてトリミングサロンに勤務経験がある。</p> | | |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 教員名 |
|-------------------|---------------------------|--|-------|
| グルーミング学 (造形美術) | | 78 | 小倉 雅美 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 回 | オリエンテーション | 授業の目的を理解し、最終的に何が身につけばよいかを具体的にイメージする | |
| 2 回 | 〃 | ・道具と名前が一致している | |
| 3 回 | シザーの持ち方・動かし方 | ・コーム、シザーをきちんと持つことが出来、動かすことが出来る | |
| 4 回 | ドッグマネキンのブラッシング | ・コーム、シザーをきちんと持つことが出来、動かすことが出来る | |
| 5 回 | 〃 | ・ドッグマネキンの右半身、顔頭耳のブラッシング完了 | |
| 6 回 | プードルのショークリップ | ・各クリップがどういうカットか具体的にイメージできる | |
| 7 回 | 〃 | 〃 | |
| 8 回 | 〃 | 〃 | |
| 9 回 | 〃 | 〃 | |
| 10 回 | 〃 | 〃 | |
| 11 回 | プードルのペットクリップ | ・ペットクリップがどういうカットか具体的にイメージできる | |
| 12 回 | 〃 | 〃 | |
| 13 回 | 〃 | 〃 | |
| 14 回 | 〃 | 〃 | |
| 15 回 | シーズーのペットクリップとマルチーズのペットク | ・シーズーとマルチーズのペットクリップの作業手順・カットの特徴を理解できる | |
| 16 回 | 〃 | 〃 | |
| 17 回 | ヨーキーのペットクリップとウェスティのペットク | ・ヨーキーとウェスティのペットクリップの作業手順・カットの特徴を理解できる | |
| 18 回 | 〃 | 〃 | |
| 19 回 | シュナウザーのペットクリップとAコッカーのペットク | シュナウザーとAコッカーのペットクリップの作業手順・カットの特徴が理解できる | |
| 20 回 | 〃 | 〃 | |
| 21 回 | シェルティのカットとポメラニアンのカット | シェルティ・ポメラニアンの部分カット、全身カットの作業手順・カットの特徴が理解できる | |
| 22 回 | 〃 | 〃 | |
| 23 回 | ベアカットデモ (マネキン) | | |
| 24 回 | ラムクリップデモ (マネキン) | | |
| 25 回 | | 足回りのカットができる | |
| 26 回 | | 〃 | |
| 27 回 | | 〃 | |
| 28 回 | | 〃 | |
| 29 回 | | 尾付き周りのカット、背線のカットができる 右後肢のカットに入る | |
| 30 回 | | | |
| 31 回 | | 〃 | |
| 32 回 | | 〃 | |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|------|---------------|----------------------------|
| 33 回 | | 右後肢のカットができる |
| 34 回 | | |
| 35 回 | | |
| 36 回 | | " |
| 37 回 | | ボディサイド～アンダー、タックアップのカットができる |
| 38 回 | | " |
| 39 回 | | |
| 40 回 | | " |
| 41 回 | | 肩～右前肢の外側・後方のカットができる |
| 42 回 | | |
| 43 回 | | |
| 44 回 | | " |
| 45 回 | | 胸、右前肢の前方・内側カットができる |
| 46 回 | | |
| 47 回 | | " |
| 48 回 | | " |
| 49 回 | | 肩～左前肢のカットができる |
| 50 回 | | |
| 51 回 | | |
| 52 回 | | " |
| 53 回 | | ボディサイド～アンダー、タックアップのカットができる |
| 54 回 | | |
| 55 回 | | |
| 56 回 | | " |
| 57 回 | | 左後肢のカットができる |
| 58 回 | | |
| 59 回 | | |
| 60 回 | | " |
| 61 回 | | 頭顔(ベアカット) |
| 62 回 | | " |
| 63 回 | | " |
| 64 回 | | " |
| 65 回 | | " |
| 66 回 | | " |
| 67 回 | | " |
| 68 回 | | " |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|------|---------------|-------------------------------|
| 69 回 | | 耳のカットができる |
| 70 回 | | " |
| 71 回 | | " |
| 72 回 | | 尾のカットができる |
| 73 回 | | " |
| 74 回 | | " |
| 75 回 | | リボン付けができる。ペットクリップを1つ選びカットができる |
| 76 回 | | " |
| 77 回 | まとめ | 今までの復習をする 試験に向けての準備 |
| 78 回 | まとめ | " |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 時間 | 教員名 |
|-----------------------|---------------|----------------------------|----|-------|
| グルーミング学 (トリミング実習Ⅰ) | | 48 | | 小倉 雅美 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | | |
| 1 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 2 回 | | | | |
| 3 回 | | | | |
| 4 回 | | | | |
| 5 回 | | | | |
| 6 回 | | | | |
| 7 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 8 回 | | | | |
| 9 回 | | | | |
| 10 回 | | | | |
| 11 回 | | | | |
| 12 回 | | | | |
| 13 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 14 回 | | | | |
| 15 回 | | | | |
| 16 回 | | | | |
| 17 回 | | | | |
| 18 回 | | | | |
| 19 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 20 回 | | | | |
| 21 回 | | | | |
| 22 回 | | | | |
| 23 回 | | | | |
| 24 回 | | | | |
| 25 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 26 回 | | | | |
| 27 回 | | | | |
| 28 回 | | | | |
| 29 回 | | | | |
| 30 回 | | | | |
| 31 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 32 回 | | | | |
| 33 回 | | | | |
| 34 回 | | | | |
| 35 回 | | | | |
| 36 回 | | | | |
| 37 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 38 回 | | | | |
| 39 回 | | | | |
| 40 回 | | | | |
| 41 回 | | | | |
| 42 回 | | | | |
| 43 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 44 回 | | | | |
| 45 回 | | | | |
| 46 回 | | | | |
| 47 回 | | | | |
| 48 回 | | | | |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科 盛岡ペットワールド専門学校

| | | |
|---|---|-----|
| 科目名 グルーミング学 (猫種総論) | 教員名 高坂 恵梨香 | |
| 科目時間数： 20 時間 | 授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習 | |
| 必修・選択の別： (必修)・選択 | 配当学年 1 開講時期： 前期 ・ (後期) ・ 集中 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 ペットショップで販売されている猫の種類のお手入れについてを理解するのがねらい</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 猫の種類とその特徴 猫のお手入れの仕方</p> <p>【授業における達成課題】 筆記試験において正答が80%以上</p> | | |
| | 使用教材 | 出版社 |
| 学生用 | 猫の教科書 | 緑書房 |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 (有) ・ 無</p> <p>【内容】 動物病院にて動物看護師として勤務経験がある</p> <p>【評価とその内容】 筆記試験において正答率80%以上 授業出席率80%以上</p> <p>【必要な予習などの内容】 次回に向けて、教科書に目を通し予習することを指示し実行する</p> | | |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 教員名 |
|---------------|---------------------|-------------------------------------|--------|
| グルーミング学(猫種総論) | | 20 | 高坂 恵梨香 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 回 | オリエンテーション | 授業の目的、授業の目標について説明する。 | |
| 2 回 | メイン・クーン・キャット | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 3 回 | アメリカン・ショートヘア | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 4 回 | タビーパターンについて | タビーパターンを理解し、タビーの判別ができるようになる。 | |
| 5 回 | スコティッシュ・フォールド | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 6 回 | ノルウェージャン・フォレスト・キャット | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 7 回 | ラグドール | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 8 回 | アメリカン・カール | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 9 回 | アビシニアン | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 10 回 | ロシアン・ブルー | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 11 回 | 猫種総論まとめ | 筆記試験により理解を深める。 | |
| 12 回 | ベンガル | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 13 回 | エキゾチック | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 14 回 | マンクス | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 15 回 | 猫の感覚器・五感・飼育に必要なもの | 猫の感覚器や五感、飼育に関わるものが犬とどのように違うのかを理解する。 | |
| 16 回 | 猫の感覚器・五感・飼育に必要なもの | 猫の感覚器や五感、飼育に関わるものが犬とどのように違うのかを理解する。 | |
| 17 回 | 猫の感覚器・五感・飼育に必要なもの | 猫の感覚器や五感、飼育に関わるものが犬とどのように違うのかを理解する。 | |
| 18 回 | シンガプーラ | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 19 回 | ブリティッシュ・ショートヘア | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 20 回 | 猫種総論まとめ | 筆記試験により理解を深める。 | |

授業計画表

美容トリマー 学科

盛岡医療福祉専門学校

| | | |
|--|-----------------------------|-----|
| 科目名 ペットショップ実践学 (PS実務) | 教員名 小松 里菜 | |
| 科目時間数 : 26 時間 | 授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習 | |
| 必修・選択の別 : 必修・選択 | 配当学年 : 1年 | |
| 開講時期 : 前期・後期・集中 | | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 ショップ店員に求められる知識とお客様への対応力を学ぶ。高齢犬のお手入れについて適切に扱うことができる。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 主にエキゾチックやアクアについて学ぶ。サロン時にお客様への問診のしかたやクレームにつながる為の受付について・高齢犬のお手入れの仕方についてを学ぶ</p> <p>【授業における達成課題】 実際にサロンや病院、ペットショップで働いた際に、基礎的な知識を持ち、お客様へ適切なアドバイスをできるようにする。</p> | | |
| | 使用教材 | 出版社 |
| | | |
| 【使用教室】 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 () | | |
| 【評価方法】 1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 () | | |
| 【備考】 | | |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 教員名 |
|------------------|---------------|-----------------------|-------|
| ペットショップ実践学 (PS実) | | 26 | 小松 里菜 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 | マイクロチップと保険 | マイクロチップの必要性と保険の内容について | |
| 2 | 遺伝子検査の必要性 | 遺伝子検査を行う目的、遺伝病を持つ動物たち | |
| 3 | 最新の法律 | 最新の法律について | |
| 4 | 最新の法律 | 最新の法律について | |
| 5 | ポップの作り方 | 商品を守るためのポップの作り方 | |
| 6 | ポップ作り | 実際にポップを作る | |
| 7 | 多頭飼育について | 多頭飼育が起きる理由 | |
| 8 | 多頭飼育について | 販売員ができること | |
| 9 | 熱中症対策 (猫) | 猫の根熱中症の原因 | |
| 10 | 熱中症対策 (猫) | 対策 | |
| 11 | 観賞魚の仕入れ | 仕入れの注意点、流行りのお魚 | |
| 12 | 水槽レイアウト | 鑑賞魚を調べ、レイアウトする | |
| 13 | ペットフード | ペットフードの成分 | |
| 14 | ペットフード | ペットフードの成分 | |
| 15 | 販売契約書の内容 | 内容を理解する | |
| 16 | 販売契約書の内容 | 実際に書き、説明できるようにする | |
| 17 | 感染症について | ショップで蔓延する感染症 | |
| 18 | 感染症について | 消毒やほかの動物たちの対応 | |
| 19 | サプリとエビデンス | サプリの効果と成分について | |
| 20 | サプリとエビデンス | エビデンス | |
| 21 | ペットショップの流通 | 生体の仕入れ | |
| 22 | ペットショップの流通 | 生体の仕入れ | |
| 23 | クレーム対応 | クレームランキング | |
| 24 | クレーム対応 | その対応 | |
| 25 | 生体販売の注意 | 生体を販売するときに気を付けること | |
| 26 | 生体販売の注意 | クレームに繋がらないために | |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 時間 | 教員名 |
|--------------------|---------------|--|----|-------|
| しつけトレーニング学Ⅰ(犬の行動学) | | 50 | | 三上 祐太 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | | |
| 1 | 適切な服装・身だしなみ | 授業の到達目標、授業の進め方について説明 | | |
| 2 | 犬との接し方 | 犬と関わる時の服装について理解する。適切と不適切のポイントを答えることができる | | |
| 3 | 犬との接し方 | 犬の立場になり、人の接し方が犬にどれほどのストレスになっているかを知る。 | | |
| 4 | 犬の管理 | リードの意味を理解する。リードの種類を理解し、適切な道具を選ぶ方法を理解する。 | | |
| 5 | 犬の管理 | カラーの種類を理解し、メリットとデメリットを理解する。カラーのフィッティングが出来るようになる | | |
| 6 | 犬の管理 | カラーの装着、取り外しができるようになる | | |
| 7 | 犬の管理 | 実際の犬と一緒に歩く練習をする。動き出し、止まり方、引っ張られたときの対処を学ぶ。リードを適切にコントロールする。 | | |
| 8 | 犬の管理 | 人形を使って、前抱っこ、横抱っこの方法を理解する | | |
| 9 | 犬の管理 | クレートの種類を理解する | | |
| 10 | 犬の管理 | クレートの組み立て方、クレートへの入れ方、出し方を理解する。 | | |
| 11 | 犬の管理 | 危機管理のポイントを理解し、危機管理を考えた動きができる。 | | |
| 12 | 犬の管理 | 台の上での犬の作業についてポイントをつかむ | | |
| 13 | 犬の管理 | 複数の犬がいる場合、咬傷事故を起こさないための管理について学ぶ。 | | |
| 14 | 犬の管理 | 複数の犬がいる場合、咬傷事故を起こさないための管理を実際の犬を入れながら学ぶ。 | | |
| 15 | 犬の管理 | 犬の行動管理について、犬の行動を予測し、人が犬の行動を管理する意識を人形を使って身に付ける。 | | |
| 16 | 犬の管理 | 犬の行動管理について、犬の行動を予測し、人が犬の行動を管理する意識を実際の犬を使って身に付ける。 | | |
| 17 | 犬の管理 | 飼い主の気持ちになり、預けた犬をどのように管理すれば、安心するかグループで討論する。 | | |
| 18 | 犬の管理 | 犬へ接近し、犬に挨拶をし、犬の体を抑えた後に、抱っこをする一連の流れを復習する。 | | |
| 19 | 犬の管理 | 犬に合ったサイズのクレートを準備し、犬をクレートに入れ、安全に管理し、その後、クレートから出す一連の流れを確認する。 | | |
| 20 | 犬の管理 | 安全に飼い主に犬を返すことを想定し、適切なリードのコントロール、カラーの装着と調節について確認する。 | | |
| 21 | 犬の管理 | 犬を適切に褒めるタイミングと方法を学ぶ。ご褒美とは何かを理解する。 | | |
| 22 | 犬の管理 | 犬のサイズに合ったご褒美の大きさを理解する。おやつを安全に与える方法を理解し、実践できるようになる。 | | |
| 23 | 犬の管理 | 犬の観察の仕方を身につける。 | | |
| 24 | 犬の管理 | 犬の感情を読み取るために、どの部分を観察するかを学び、犬の感情を読み取る。犬のボディランゲージを学ぶ。 | | |
| 25 | 犬の管理 | 犬のカーミングシグナルとは何か、どんな種類があるか学ぶ。 | | |
| 26 | 犬の管理 | 犬のストレスサインとは何か、どんな種類があるか学ぶ。 | | |
| 27 | 犬の管理 | 犬に過度にストレスがかかった時に表れる反応を学ぶ。 | | |
| 28 | 犬の管理 | 犬のストレスを発散させる方法を学ぶ。 | | |
| 29 | 犬の管理 | 犬の対立行動とは何かを学び、回避、服従、威嚇、攻撃の違いを知る。 | | |
| 30 | 学習理論 | 犬のパーソナルスペースとは何か、境界線とは何かを学ぶ。 | | |
| | | 古典的条件付けを理解し、イヌが日常的にどのように学習をしているか推測する。 | | |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|---------|---------------|--|
| 31 回 | 学習理論 | 古典的条件付けを理解し、犬が苦手になる刺激がどのように出来るのかを学ぶ。 |
| 32 回 | 学習理論 | 古典的条件付けを理解し、犬に刺激を受け入れるようにする方法を学ぶ。 |
| 33 回 | 学習理論 | オペラント条件付けとはどのような学習方法であり、誰が提唱したかを理解する。 |
| 34 回 | 学習理論 | オペラント条件付けの4つの種類を理解し、日常的にイヌやネコが学習していることを理解する。 |
| 35 回 | 学習理論 | 強化、消去、消去バースト、自然的回復を理解し、望ましい行動の強化法と望ましくない行動の消去法を理解する。 |
| 36 回 | 学習理論 | 三項随伴性とは何か理解し、行動がどのように発現し、学習していくかを理解する。 |
| 37 回 | 学習理論 | オペラント条件付けの4つの種類を理解し、実際の犬に取り入れ、学習による変化を観察する。 |
| 38 回 | 学習理論 | オペラント条件付けの4つの種類を理解し、実際の犬に取り入れ、学習による変化を観察する。 |
| 39 回 | 学習理論 | オペラント条件付けの正の強化、正の弱体化で犬の行動がどのように変化するのかを学ぶ。 |
| 40 回 | 学習理論 | オペラント条件付けの負の強化、負の弱体化で犬の行動がどのように変化するのかを学ぶ。 |
| 41 回 | 犬のトレーニング | 誘導法について学び、犬をコントロールすることができる。 |
| 42 回 | 犬のトレーニング | 誘導法を使って、オスワリ、フセをさせる方法を学ぶ。 |
| 43 回 | 犬のトレーニング | 誘導法を使って、犬とアイコンタクトする方法を学ぶ。 |
| 44 回 | 犬のトレーニング | アテンションの意味と効果を学ぶ。アテンションを取る方法を知る。 |
| 45 回 | 犬のトレーニング | 誘導法を使って、犬と一緒に歩く方法を学ぶ。安全な扉の出入りについて学ぶ。 |
| 46 回 | 犬のトレーニング | 服を着脱ができる |
| 47 回 | 犬のトレーニング | グルーミング道具の受入れを良くする方法を学ぶ |
| 48 回 | 犬のトレーニング | 水の受入れを良くする方法を学ぶ |
| 49 回 | 犬のトレーニング | 基本的な犬の扱いについて確認する |
| 50 回 | 犬のトレーニング | 攻撃的な犬の扱いについて理解を深める |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| 科目名 ペットビジネス教養 I (基礎学力) | 教員名 天瀬 恵美子 | | | | | | |
|--|--|-----|------|-----|-----|-------|--|
| 科目時間数: 30 時間 | 授業の種類: <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習 | | | | | | |
| 必修・選択の別: <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択 | 配当学年: 1 開講時期: <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中 | | | | | | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 MCLスタンダードプログラムを通じ、知識、思いやりの心、行動力の必要を見出し、意欲的に学校生活を送る。 社会で活躍するために必要な能力の向上を目的とする。 周囲と協働し、自ら気づき、考え、行動する能力を磨く。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 <input checked="" type="checkbox"/> 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 MCLスタンダードプログラム第1～9回 校内外の活動、イベントを企画運営、基礎学力の向上、人間性の向上を養うための考え方を学び理解する。基礎学力を身につける</p> <p>【授業における達成課題】 学校生活（受講姿勢も含めた行動）や就職後の活躍。 振り返りシートの提出</p> | | | | | | | |
| | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;"></th> <th style="width: 40%;">使用教材</th> <th style="width: 30%;">出版社</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">学生用</td> <td style="padding: 5px;">プリント等</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </tbody> </table> | | 使用教材 | 出版社 | 学生用 | プリント等 | |
| | 使用教材 | 出版社 | | | | | |
| 学生用 | プリント等 | | | | | | |
| 【教員担当の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 | | | | | | | |
| 【内 容】 ペットショップで、ペットショップスタッフとして実務経験あり | | | | | | | |
| 【評価方法とその内容】 授業出席率80%以上。 振り返りシートの提出 | | | | | | | |
| 【必要な予習等の内容】 配布資料（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。 | | | | | | | |

| 科目名 ペットビジネス教養Ⅰ(基礎学力) | | 科目時間総数 30 | 時間 | 教員名 天瀬 恵美子 |
|-------------------------|---------------|---|----|---------------|
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | | |
| 1回 | スタンダードプログラム | 基本的なマナーや第一印象が大切にされる理由を学ぶ | | |
| 2回 | スタンダードプログラム | 基本的なマナーや第一印象が大切にされる理由を学ぶ | | |
| 3回 | スタンダードプログラム | ディスカッションの流れおよびアイデア出しについて学ぶ | | |
| 4回 | スタンダードプログラム | ディスカッションの流れおよびアイデア出しについて学ぶ | | |
| 5回 | スタンダードプログラム | 学ぶ理由や目的を学ぶ | | |
| 6回 | スタンダードプログラム | 学ぶ理由や目的を学ぶ | | |
| 7回 | スタンダードプログラム | 人との関わりについて、自己理解と他者理解について学ぶ | | |
| 8回 | スタンダードプログラム | 人との関わりについて、自己理解と他者理解について学ぶ | | |
| 9回 | スタンダードプログラム | 動物系イベントを成功させるポイントを学ぶ | | |
| 10回 | スタンダードプログラム | 動物系イベントを成功させるポイントを学ぶ | | |
| 11回 | スタンダードプログラム | 経済活動と倫理について学ぶ | | |
| 12回 | スタンダードプログラム | 経済活動と倫理について学ぶ | | |
| 13回 | スタンダードプログラム | プロの意識について学ぶ | | |
| 14回 | スタンダードプログラム | プロの意識について学ぶ | | |
| 15回 | スタンダードプログラム | 長期的かつグローバルな視点で「理想の社会」や「自身の会社との関わり方」について学ぶ | | |
| 16回 | スタンダードプログラム | 長期的かつグローバルな視点で「理想の社会」や「自身の会社との関わり方」について学ぶ | | |
| 17回 | スタンダードプログラム | 専門学校卒業を迎えるときの自分自身の姿を描き、目標宣言をする | | |
| 18回 | スタンダードプログラム | 専門学校卒業を迎えるときの自分自身の姿を描き、目標宣言をする | | |
| 19回 | 基礎学力 | 読み、書き、計算、考える力を養う | | |
| 20回 | 基礎学力 | 読み、書き、計算、考える力を養う | | |
| 21回 | 基礎学力 | 読み、書き、計算、考える力を養う | | |
| 22回 | 基礎学力 | 読み、書き、計算、考える力を養う | | |
| 23回 | 基礎学力 | 読み、書き、計算、考える力を養う | | |
| 24回 | 基礎学力 | 読み、書き、計算、考える力を養う | | |
| 25回 | 基礎学力 | 読み、書き、計算、考える力を養う | | |
| 26回 | 基礎学力 | 読み、書き、計算、考える力を養う | | |
| 27回 | 基礎学力 | 読み、書き、計算、考える力を養う | | |
| 28回 | 基礎学力 | 読み、書き、計算、考える力を養う | | |
| 29回 | 今までの復習 | 今までの学校生活を振り返る | | |
| 30回 | 目標決め | 来年度の計画を立てる | | |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | |
|---|--|-------|
| 科目名 ペットビジネス教養Ⅰ (社会人教養Ⅰ) | 教員名 岩泉 美和子 先生 | |
| 科目時間数 : 30 時間 | 授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習 | |
| 必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択 | 配当学年 : 1 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 社会人に必要となるビジネスマナーを身に付ける</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 <input checked="" type="checkbox"/> 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 仕事の取り組み方、敬語、接客対応、ビジネス文書の作成、訪問のマナー、冠婚葬祭のマナーを身に付ける。</p> <p>【授業における達成課題】 筆記試験での正答が60%以上</p> | | |
| | 使用教材 | 出版社 |
| 学生用 | 社会で生きるビジネスマナー | ウィネット |
| 【教員担当の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 | | |
| 【内 容】 金融機関関連企業等で勤務経験がある。 | | |
| 【評価方法とその内容】 筆記試験での正答が60%以上、授業出席率80%以上。 | | |
| 【必要な予習等の内容】 毎回の授業の最後に、次回の授業内容について教科書を活用して予習を指示する。 | | |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 教員名 |
|--------------------|---------------|---|-----------|
| ペットビジネス教養Ⅰ(社会人教養Ⅰ) | | 30 時間 | 岩泉 美和子 先生 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 回 | オリエンテーション | ビジネスマナーを学ぶ目的を理解する。 | |
| 2 回 | オリエンテーション | 目標設定をする。相互理解とは何か理解する。 | |
| 3 回 | 仕事に取り組む姿勢 | 学校生活と社会人の生活の違いを知る。社会人として求められる資質を理解する。 | |
| 4 回 | 仕事に取り組む姿勢 | 社会人にふさわしい身だしなみを理解する。指示の受け方、報告、相談の仕方を理解する。 | |
| 5 回 | 職場の人間関係 | 社内・社外の人間関係について理解する | |
| 6 回 | 職場の人間関係 | 人間関係づくりの基本 アサーションについて理解する | |
| 7 回 | 基本動作 | コミュニケーションの心構えを理解する。姿勢、お辞儀、立ち座り、表情の注意点を理解する。 | |
| 8 回 | 基本動作 | 話し方の基本を理解し、言葉選びのマナーを学ぶ。 聴き方の基本を理解する。 | |
| 9 回 | 言葉遣い | 敬語の基本を理解する | |
| 10 回 | 言葉遣い | 間違いやすい敬語を覚え、正しい言葉遣いができるようになる。アルバイト言葉を理解する。 | |
| 11 回 | 来客対応 | 接遇の意義と重要、接遇の心構えを理解する。 | |
| 12 回 | 来客対応 | お客様の受付について基本用語を理解する。 | |
| 13 回 | 来客対応 | 分かりやすい方向の指し方を理解する。 | |
| 14 回 | 来客対応 | 案内の要領、席次、見送りの仕方を理解する。 | |
| 15 回 | 電話対応 | 電話対応の注意点を理解する。電話の受け方の基本と用語を理解する。 | |
| 16 回 | 電話対応 | 様々な電話の対応の仕方を理解する。電話のかけ方を理解する。 | |
| 17 回 | モデル犬の対応 | お迎え～お返しまでの流れを把握する | |
| 18 回 | モデル犬の対応 | お客様対応時の重要ポイントを確認し、理解する。 | |
| 19 回 | 訪問マナー | 事業所への訪問前の準備について理解する。 | |
| 20 回 | 訪問マナー | 訪問当日のマナーについて理解する。 | |
| 21 回 | 訪問マナー | 名刺交換の仕方、自己紹介、離席時のマナーを理解する。 | |
| 22 回 | ビジネス文書 | ビジネス文書とは何か理解する。 | |
| 23 回 | ビジネス文書 | ビジネス文書の書き方を理解する。 | |
| 24 回 | ビジネス文書 | 社内文書の基本、社外文書の基本を学ぶ。 | |
| 25 回 | ビジネス文書 | 手紙、はがきについてのマナーを理解する。 | |
| 26 回 | 冠婚葬祭 | 冠婚葬祭のマナーについて理解する。 | |
| 27 回 | 冠婚葬祭 | 冠婚葬祭のマナーについて理解する。 | |
| 28 回 | 試験対策 | 試験対策 今までの復習 | |
| 29 回 | 試験対策 | 試験対策 今までの復習 | |
| 30 回 | 試験解説 | 試験解説 社会人教養で学ぶべき内容を理解する。 | |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | |
|---|--------------------------------------|-----|
| 科目名 ペットビジネス教養 I (学校行事) | 教員名 天瀬 恵美子 | |
| 科目時間数: 90 時間 | 授業の種類: 講義 ・ 演習 ・ 実習 | |
| 必修・選択の別: 必修・選択 | 配当学年: 1 開講時期: 前期・後期・集中 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 学校生活を実りあるものにするための考え方を学ぶ。 社会人に必要となる社会人基礎寮力を磨き、社会で働く心構えを身に付ける。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 オリエンテーション、学校行事、国内研修等。</p> <p>【授業における達成課題】 学校行事等を通じて、目標達成やその過程を経験して日常生活や就職後の活動で活躍できる。</p> | | |
| | 使用教材 | 出版社 |
| 学生用 | プリント等 | |
| 【教員担当の実務経験の有無】 有 ・ 無 | | |
| 【内 容】 ペットショップでペットショップスタッフとして勤務経験がある。 | | |
| 【評価方法とその内容】 受講姿勢と取組み成果、レポート、授業出席率90%以上。 | | |
| 【必要な予習等の内容】 行事等について、事前に担当分野の内容を打ち合わせをして授業に参加することを指示して実行する。 | | |

| 科目名 ペットビジネス教養Ⅰ□(学校行事) | | 科目時間総数 90 | 時間 | 教員名 天瀬 恵美子 |
|--------------------------|---------------|--------------|-----------|---------------|
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | | |
| 1回 | 特別授業 | オリエンテーション | 学校での過ごしかた | |
| 2回 | 特別授業 | オリエンテーション | 学校での過ごしかた | |
| 3回 | 特別授業 | オリエンテーション | 学校での過ごしかた | |
| 4回 | 特別授業 | オリエンテーション | 学校での過ごしかた | |
| 5回 | 特別授業 | オリエンテーション | 学校での過ごしかた | |
| 6回 | 特別授業 | 学生交流会 | | |
| 7回 | 特別授業 | 学生交流会 | | |
| 8回 | 特別授業 | 学生交流会 | | |
| 9回 | 特別授業 | 健康診断 | | |
| 10回 | 特別授業 | 健康診断 | | |
| 11回 | 特別授業 | 避難訓練 | | |
| 12回 | 特別授業 | 同行避難について | | |
| 13回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 14回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 15回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 16回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 17回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 18回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 19回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 20回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 21回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 22回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 23回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 24回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 25回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 26回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 27回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 28回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 29回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |
| 30回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | | |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|-----|---------------|--------------|
| 31回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 |
| 32回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 |
| 33回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 |
| 34回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 |
| 35回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 |
| 36回 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 |
| 37回 | 行事 | ドッグフェスティバル |
| 38回 | 行事 | ドッグフェスティバル |
| 39回 | 行事 | ドッグフェスティバル |
| 40回 | 行事 | ドッグフェスティバル |
| 41回 | 行事 | ドッグフェスティバル |
| 42回 | 行事 | ドッグフェスティバル |
| 43回 | 行事 | スポーツ大会 |
| 44回 | 行事 | スポーツ大会 |
| 45回 | 行事 | スポーツ大会 |
| 46回 | 行事 | スポーツ大会 |
| 47回 | 行事 | スポーツ大会 |
| 48回 | 行事 | スポーツ大会 |
| 49回 | 特別授業 | 今までの振り返り |
| 50回 | 特別授業 | 目標の確認 |
| 51回 | 特別授業 | 校長講話 |
| 52回 | 特別授業 | 卒業生講話 |
| 53回 | 特別授業 | 卒業生講話 |
| 54回 | 特別授業 | 卒業生講話 |
| 55回 | 行事 | 学園祭 |
| 56回 | 行事 | 学園祭 |
| 57回 | 行事 | 学園祭 |
| 58回 | 行事 | 学園祭 |
| 59回 | 行事 | 学園祭 |
| 60回 | 行事 | 学園祭 |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|-----|---------------|-------------------------|
| 61回 | 行事 | 学園祭 |
| 62回 | 行事 | 学園祭 |
| 63回 | 行事 | 学園祭 |
| 64回 | 特別授業 | 動物愛護週間 ボランティア活動 |
| 65回 | 特別授業 | 動物愛護週間 ボランティア活動 |
| 66回 | 特別授業 | 動物愛護週間 ボランティア活動 |
| 67回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 68回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 69回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 70回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 71回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 72回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 73回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 74回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 75回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 76回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 77回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 78回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 79回 | 行事 | MCLスポーツ大会 |
| 80回 | 行事 | MCLスポーツ大会 |
| 81回 | 行事 | MCLスポーツ大会 |
| 82回 | 行事 | ワンだふるL i f e i n はなまき準備 |
| 83回 | 行事 | ワンだふるL i f e i n はなまき準備 |
| 84回 | 行事 | ワンだふるL i f e i n はなまき準備 |
| 85回 | 行事 | ワンだふるL i f e i n はなまき準備 |
| 86回 | 行事 | ワンだふるL i f e i n はなまき準備 |
| 87回 | 行事 | ワンだふるL i f e i n はなまき準備 |
| 88回 | 行事 | ワンだふるL i f e i n はなまき準備 |
| 89回 | 行事 | ワンだふるL i f e i n はなまき準備 |
| 90回 | 行事 | ワンだふるL i f e i n はなまき準備 |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | |
|---|--------------------------------------|
| 科目名 インターンシップ実習 I | 教員名 天瀬 恵美子 |
| 科目時間数： 144 時間 | 授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習 |
| 必修・選択の別： 必修・選択 | 配当学年： 1 開講時期： 前期・後期・集中 |
| <p>【授業の目的・ねらい】 修学した知識と技術が実際の動物関連分野でどのように活かされているかをペットサロン、ペットショップ、動物病院などで体験、実習をする。</p> <p>インターンシップ（職場実習）として、ペットサロン、ペットショップ、動物病院などの施設構造や機能を理解しすることで、実践的な動物関連の仕事内容と専門知識及び倫理観を習得する。また、インターンシップ先への実習依頼については、学生が行うことでビジネスマナーを身に付ける。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 ④ 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業における達成課題】 動物関連業界への就職を実現するだけでなく、業界での活躍を目指す。</p> | |
| | 使用教材 |
| 学生用 | 実践ビジネスマナー |
| | 出版社 |
| | ウイネット |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 有 ・ 無</p> <p>【内 容】 ペットショップでスタッフとして勤務経験がある</p> <p>【評価方法とその内容】 実習評価表（実習先記入）、インターンシップアンケート（実習先記入）、実習日誌・実習日程（学生、実習先記入）、インターンシップレポート・振り返りシート（学生記入）</p> <p>【必要な予習等の内容】 翌日の実習内容を担当者に確認をして、必要な内容について教科書等を活用して確認をする。</p> | |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 教員名 |
|--------------|--------------------|---|--------|
| インターンシップ実習 I | | 140 | 天瀬 恵美子 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 回 | インターンシップの実施の説明 | インターンシップの目的や取り組みについて理解する。 | |
| 2 回 | インターンシップ実施報告会① | 複数名の2年生の学生より、インターンシップの実施報告を聞き取り組みについての理解を深める。 | |
| 3 回 | インターンシップ実施報告会② | 複数名の2年生の学生より、インターンシップの実施報告を聞き取り組みについての理解を深める。 | |
| 4 回 | インターンシップ実施報告会③ | 複数名の2年生の学生より、インターンシップの実施報告を聞き取り組みについての理解を深める。 | |
| 5 回 | ビジネスマナーの基本① | インターンシップに向けて、ビジネスマナーの基本を理解する。 | |
| 6 回 | ビジネスマナーの基本② | インターンシップに向けて、ビジネスマナーの基本を理解する。 | |
| 7 回 | インターンシップ予定先への受入交渉① | インターンシップ予定先への受入交渉（電話）に向けて、電話対応マナーを理解する。 | |
| 8 回 | インターンシップ予定先への受入交渉② | インターンシップ予定先への受入交渉（電話）に向けて、電話対応マナーを理解する。 | |
| 9 回 | インターンシップ予定先への受入交渉③ | インターンシップ予定先への受入について、電話で交渉をする。 | |
| 10 回 | インターンシップの実施の目標設定① | インターンシップの目的や取り組みについて理解し上で、実習先や目標を設定する。 | |
| 11 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 12 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 13 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 14 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 15 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 16 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 17 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 18 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 19 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 20 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 21 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 22 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 23 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 24 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 25 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 26 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 27 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 28 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 29 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 30 回 | インターンシップ（職場実習） | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|----------|-------------------------|-----------------------------------|
| 127 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 128 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 129 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 130 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 131 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 132 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 133 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 134 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 135 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 136 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 137 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 138 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 139 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 140 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 141 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 142 回 | インターンシップ (職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 |
| 143 回 | インターンシップ(職 場実習)のまとめ① | 実習日誌、インターンシップレポート、実習振り返りシートを作成する。 |
| 144 回 | インターンシップ(職 場実習)のまとめ② | 実習日誌、インターンシップレポート、実習振り返りシートを作成する。 |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | |
|---|--|------------|
| 科目名 動物飼養管理総論Ⅱ (飼育学Ⅱ) | 教員名 市村 香織 | |
| 科目時間数 : 20 時間 | 授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習 | |
| 必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択 | 配当学年 : 2 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 パピーの飼育管理、シニアの衰えについて知識を身に付け、飼い主に適切なアドバイスをすることができる。</p> <p>【ペット美容トリマー科ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎となるグルーミング技術が身についている 2. 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている 3. 飼い主とペットの生活について総合的なアドバイスができるレベルが身についている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる 5. 働くということへの心構えができている <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎となるグルーミング技術が身についている 2. 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている 3. 飼い主とペットの生活について総合的なアドバイスができるレベルが身についている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる 5. 働くということへの心構えができている <p>【授業全体の内容の概要】 パピーケアの仕方、シニアケアの仕方を座学形式で身に付ける。</p> <p>【授業における達成課題】 筆記試験において正答が80%以上。</p> | | |
| | 使用教材 | 出版社 |
| 学生用 | プリント等 | |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</p> <p>【内 容】</p> | | |
| <p>【評価方法とその内容】 筆記試験において正答が60%以上、授業出席率80%以上。</p> | | |
| <p>【必要な予習等の内容】 次回の授業内容について教科書を活用して予習をすることを指示して実行する。</p> | | |

| 科目名 動物飼養管理総論Ⅱ□飼育学Ⅱ | | 科目時間総数 20 | 時間 | 教員名 市村 香織 |
|-----------------------|---------------|--|----|--------------|
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | | |
| 1 | パピーケア | 犬のライフサイクルについて理解し、成長の変化を説明できる。 | | |
| 2 | パピーケア | 子犬が親兄弟との関わりで身に付けることを3つ答えることができる | | |
| 3 | パピーケア | 子犬を迎える前に飼い主が考える、学ぶべきことを理解し説明できる。 | | |
| 4 | パピーケア | 子犬の入手先を理解し、どのような施設で子犬を迎えるべきか説明できる。 | | |
| 5 | パピーケア | 子犬を選ぶポイントを3つ答えることができ、説明できる。 | | |
| 6 | パピーケア | 子犬を迎えた後に注意することを理解し、説明できる。 | | |
| 7 | パピーケア | 子犬の運動について理解し、説明できる。 | | |
| 8 | パピーケア | 子犬の遊びについて理解し、安全なおもちゃの選び方を説明できる。 | | |
| 9 | パピーケア | 子犬の甘噛みについて説明できる。 | | |
| 10 | パピーケア | 子犬の社会化について理解し、説明できる。 | | |
| 11 | パピーケア | 社会化のポイントを説明できる。 | | |
| 12 | パピーケア | 子犬の留守番について説明できる。 | | |
| 13 | パピーケア | 子犬のトイレトレーニングについて説明できる。 | | |
| 14 | パピーケア | クレートの使用について理解し、適切なサイズやポイントを説明できる。 | | |
| 15 | パピーケア | お手入れについて理解し、必要なケアを受け入れてもらう為のポイントを説明できる。 | | |
| 16 | シニアケア | 犬の年齢による衰えるポイントを説明できる。 | | |
| 17 | シニアケア | 高齢犬との暮らし方について理解し、必要なケアを受け入れてもらう為のポイントを説明できる。 | | |
| 18 | シニアケア | ペットロスとは何か理解し、回復までのプロセスやペットロスによる症状を説明できる。 | | |
| 19 | シニアケア | ペットロスとは何かを理解し、気持ちの整理のつけ方を説明できる。 | | |
| 20 | シニアケア | 見送り方について、合同火葬・個別一任火葬・個別立ち合い火葬とは何かを説明できる。 | | |

| | | | |
|---|-------------|-----------------------------|------------------------|
| 科目名 動物飼養管理総論Ⅱ (飼育実習Ⅱ) | | 教員名 市村 香織 | |
| 科目時間数 : 30 時間 | | 授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習 | |
| 必修・選択の別 : 必修・選択 | | 配当学年 : 2 | 開講時期 : 前期・後期・集中 |
| <p>【授業の目的・ねらい】 学校動物の飼育の中から、飼い主の気持ちを知るとともに、適切な動物の飼育の仕方や適切な扱い方を身に付ける。 他者とコミュニケーションを取りながら、作業を進めるために必要な能力を身に付ける。 下級学生へ指導する能力を身に付ける。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 基礎となるグルーミング技術が身についている。 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 学校犬、猫、小動物の飼育法について、下級学生へ指導をしながら、学校動物の飼育管理を行う。</p> <p>【授業における達成課題】 学校にいる動物について基本的な飼育ができる。</p> | | | |
| | 使用教材 | | 出版社 |
| 学生 | プリント等 | | |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 有 ・ 無</p> <p>【内 容】</p> | | | |
| <p>【評価方法とその内容】 授業出席率80%以上。</p> | | | |
| <p>【必要な予習等の内容】 配布資料（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。</p> | | | |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 教員名 |
|-----------------|---------------|--|-------|
| 動物飼養管理総論Ⅱ(飼育実習) | | 30 時間 | 市村 香織 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 回 | 小動物の飼育 | 小動物の運動について理解を深める。オモチャの扱い方を学び、実際の飼育に使用する。 | |
| 2 回 | 小動物の飼育 | 小動物の休息について理解を深める。小動物がいる環境設定について学ぶ。 | |
| 3 回 | 小動物の飼育 | 小動物の休息について理解を深める。小動物がいる環境設定について学び、実際の猫の飼育に使用する。 | |
| 4 回 | 小動物の飼育 | 小動物との関わり方について理解を深める。良い関係を築くために、どのような方法があるかを知る。 | |
| 5 回 | 小動物の飼育 | 小動物との関わり方について理解を深める。良い関係を築くために、どのような方法があるかを知り、実際の飼育に使用する。 | |
| 6 回 | 小動物の飼育 | 小動物の健康管理について理解を深める。異常と正常の違いを知る。 | |
| 7 回 | 小動物の飼育 | 小動物の健康管理について理解を深める。異常と正常の違いを知り、実際の飼育に使用する。 | |
| 8 回 | 小動物の飼育 | 小動物の健康管理について理解を深める。健康維持をするために、どのようなボディケアが必要かを理解する。 | |
| 9 回 | 小動物の飼育 | 小動物の健康管理について理解を深める。健康維持をするために、どのようなボディケアが必要かを理解し、実際の飼育に使用する。 | |
| 10 回 | 飼い主への説明 | 相手に情報を分かりやすく伝える方法を学び、相手に合わせて説明する意識を持つ。 | |
| 11 回 | 飼い主への説明 | イヌの基本的な扱い方、接し方について説明する能力を身に付ける | |
| 12 回 | 飼い主への説明 | イヌの食事の準備の仕方、与え方について説明する能力を身に付ける。 | |
| 13 回 | 飼い主への説明 | イヌの運動の仕方、注意点について説明する能力を身に付ける。 | |
| 14 回 | 飼い主への説明 | イヌの環境を設定する方法、注意点について説明する能力を身に付ける。 | |
| 15 回 | 飼い主への説明 | イヌとの社会的な関わり方を説明する能力を身に付ける。 | |
| 16 回 | 飼い主への説明 | イヌの異常を発見し、適切な対処法を説明する能力を身に付ける。 | |
| 17 回 | 飼い主への説明 | ネコの基本的な扱い方、接し方について説明する能力を身に付ける | |
| 18 回 | 飼い主への説明 | ネコの食事の準備の仕方、与え方について説明する能力を身に付ける。 | |
| 19 回 | 飼い主への説明 | ネコの運動の仕方、注意点について説明する能力を身に付ける。 | |
| 20 回 | 飼い主への説明 | ネコの環境を設定する方法、注意点について説明する能力を身に付ける。 | |
| 21 回 | 飼い主への説明 | ネコとの社会的な関わり方を説明する能力を身に付ける。 | |
| 22 回 | 飼い主への説明 | ネコの異常を発見し、適切な対処法を説明する能力を身に付ける。 | |
| 23 回 | 飼い主への説明 | 小動物の基本的な扱い方、接し方について説明する能力を身に付ける | |
| 24 回 | 飼い主への説明 | 小動物の食事の準備の仕方、与え方について説明する能力を身に付ける。 | |
| 25 回 | 飼い主への説明 | 小動物の運動の仕方、注意点について説明する能力を身に付ける。 | |
| 26 回 | 飼い主への説明 | 小動物の環境を設定する方法、注意点について説明する能力を身に付ける。 | |
| 27 回 | 飼い主への説明 | 小動物との社会的な関わり方を説明する能力を身に付ける。 | |
| 28 回 | 飼い主への説明 | 小動物の異常を発見し、適切な対処法を説明する能力を身に付ける。 | |
| 29 回 | 飼い主への説明 | ペットを適切に飼育するために、飼い主がすべきことについて、グループで討論し、理解を深める。 | |
| 30 回 | 飼い主への説明 | ペットを適切に飼育することを普及するために、動物のプロができることについて、グループで討論し、理解を深める。 | |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | |
|--|--|--------|
| 科目名 動物看護学Ⅱ (動物看護基礎学) | 教員名 高坂 恵梨香 | |
| 科目時間数 : 30 時間 | 授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 | |
| 必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択 | 配当学年 : 2 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期・集中 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 犬の病気について知識を身につける</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 犬の病気について、種類、対処、予防法を学ぶ</p> <p>【授業における達成課題】 犬の正常と異常を見極め、適切な対処ができる 病気の予防法を説明できる 授業出席率80%以上</p> | | |
| | 使用教材 | 出版社 |
| 学生用 | わかる犬の病気 | インターズー |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>【内 容】 動物病院で動物看護師として勤務経験がある</p> <p>【評価方法とその内容】 筆記試験での正答60%以上、授業出席率80%以上</p> <p>【必要な予習等の内容】 次回の授業に向けて教科書を一読することを指示して実行する</p> | | |

| 科目名 動物看護学Ⅱ（動物の病気） | | 科目時間総数 30 | 時間 | 教員名 高坂恵梨香 |
|----------------------|---------------|--------------------------------------|----|--------------|
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | | |
| 1 回 | 犬の全身チェック | 全身部位の名称の確認。BCSについて理解し判断できる | | |
| 2 回 | 犬の全身チェック | ホルモンの影響で起きる体格の変化、トリミングの際の注意ポイントを理解する | | |
| 3 回 | ズーノーシス | 幼虫移行症、エキノコックス症、トキソプラズマ症について理解する | | |
| 4 回 | ズーノーシス | 狂犬病、SF TSについて理解する | | |
| 5 回 | ズーノーシス | パストレラ症、猫ひっかき病について理解する | | |
| 6 回 | ズーノーシス | レプトスピラ症、オウム病について理解する | | |
| 7 回 | 皮膚の病気 | 原発疹続発疹について理解する | | |
| 8 回 | 皮膚の病気 | 犬アトピー性皮膚炎、食物アレルギーについて理解する | | |
| 9 回 | 皮膚の病気 | ノミアレルギー、接触アレルギーについて理解する | | |
| 10 回 | 皮膚の病気 | 膿皮症、マラセチア皮膚炎、皮膚糸状菌症について理解する | | |
| 11 回 | 皮膚の病気 | ニキビダニ症、脱毛症について理解する | | |
| 12 回 | 耳の病気 | 外耳炎、耳ヒゼンダニ症、疥癬について理解する | | |
| 13 回 | 耳の病気 | 耳血腫、中耳炎、内耳炎について理解する | | |
| 14 回 | 眼の病気 | 角膜炎、角膜潰瘍、白内障について理解する | | |
| 15 回 | 眼の病気 | 緑内障、睫毛異常、網膜の病気について理解する | | |
| 16 回 | 眼の病気 | 結膜炎、ぶどう膜炎、流涙症について理解する | | |
| 17 回 | 鼻と口の病気 | 歯周病、口鼻瘻管、乳歯遺残について理解する | | |
| 18 回 | 鼻と口の病気 | 歯磨きの仕方について理解し、説明できる | | |
| 19 回 | おしり・お腹まわりの病気 | 下痢・血便、会陰ヘルニアについて理解する | | |
| 20 回 | おしり・お腹まわりの病気 | 肛門囊炎、肛門周囲の腫瘍について理解する | | |
| 21 回 | おしり・お腹まわりの病気 | 腎不全、前立腺疾患について理解する | | |
| 22 回 | おしり・お腹まわりの病気 | 膀胱炎、尿石症について理解する | | |
| 23 回 | おしり・お腹まわりの病気 | 停留精巣、偽妊娠、子宮蓄膿症について理解する | | |
| 24 回 | おしり・お腹まわりの病気 | 乳腺腫瘍、臍ヘルニアについて理解する | | |
| 25 回 | 足先・膝・腰まわりの病気 | 跛行している犬のトリミングの注意点について理解する | | |
| 26 回 | 足先・膝・腰まわりの病気 | 膝蓋骨脱臼、股関節形成不全について理解する | | |
| 27 回 | 足先・膝・腰まわりの病気 | てんかん、水頭症、椎間板ヘルニアについて理解する | | |
| 28 回 | シャンプーの基礎知識 | 薬用シャンプーの種類と働きについて理解する | | |
| 29 回 | シャンプーの基礎知識 | 正しい清掃、消毒方法について理解する | | |
| 30 回 | 動物の病気まとめ | 動物の病気について復習をして理解を深める | | |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科 盛岡ペットワールド専門学校

| | |
|--|--------------------------------------|
| 科目名 動物看護学Ⅱ (栄養学) | 教員名 柴野 梓 |
| 科目時間数: 20 時間 | 授業の種類: 講義 ・ 演習 ・ 実習 |
| 必修・選択の別: 必修・選択 | 配当学年: 2 開講時期: 前期・後期・集中 |
| <p>【授業の目的・ねらい】 雌雄の違いの理解と判別、5大栄養素について基礎を理解し、また、罹患しやすい病気5つを、かかりやすい犬種とともに理解し、生体の管理を適切に行えるようになるのがねらい</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 ③ 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 ④ 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 動物の健康維持として必要な医要素を学び、その基礎知識などを学び、様々なペットフードやパンフレット等に記載されている専門用語を理解し、飼い主に適切な栄養相談や指導を行うための知識を習得する。また、疾患に対しての適切な栄養学により、食事指導をする。</p> <p>【授業における達成課題】 筆記試験で60点以上</p> | |
| 使用教材 | 出版社 |
| 学生用 | プリント |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 有 ・ 無</p> <p>【内 容】 動物病院で獣医師としての勤務経験がある</p> | |
| <p>【評価方法とその内容】 筆記試験において60点以上、授業出席率90%以上。</p> | |
| <p>【必要な予習等の内容】 配布（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。</p> | |

| 科目名 動物看護学Ⅱ（栄養学） | | 科目時間総数 20 | 時間 | 教員名 柴野 梓 |
|--------------------|-------------------------|--|----|-------------|
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | | |
| 1 | メス犬について （生殖器） | メス犬の生殖器の構造を理解する | | |
| 2 | メス犬について （生殖器） | 卵子ができ、排卵が起こるメカニズムを理解する | | |
| 3 | オス犬について （生殖器） | オス犬の生殖器の構造を理解する | | |
| 4 | オス犬について （生殖器） | 生殖器の生理とホルモンについてを理解する | | |
| 5 | メス犬について | 発情周期とホルモンの関係を理解する | | |
| 6 | メス猫の発情 | 猫の発情について理解する | | |
| 7 | 交尾について | 交尾様式について理解する | | |
| 8 | 犬の妊娠について | 妊娠に診断方法と、妊娠期の犬の変化について理解する | | |
| 9 | 犬の出産について | 出産の経過について理解する | | |
| 10 | 犬の出産について | 難産とはどういう状態のことか理解する | | |
| 11 | 犬の出産について 新生児のケア | 帝王切開が必要な状態、犬種を理解する 新生児のケアはどのように行うのか理解する | | |
| 12 | 繁殖に係わる疾病につ いて・まとめテスト | 繁殖に関係の深い疾患について理解する | | |
| 13 | 栄養素について | 栄養素の分類について理解する | | |
| 14 | 栄養素について | タンパク質について理解する | | |
| 15 | 栄養素について | 脂質について理解する | | |
| 16 | 栄養素について | 炭水化物について理解する | | |
| 17 | 栄養素について | ビタミンについて理解する | | |
| 18 | 栄養素について | ミネラルについて理解する | | |
| 19 | 栄養素の総まとめ | 5台栄養素のについて説明できる | | |
| 20 | 産科繁殖パピーケアま とめ | 試験により理解を深める | | |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | | |
|--|---------|---|--|
| 科目名 トリミング学 (グルーミング実習Ⅱ) | | 教員名 藤原 侑美 | |
| 科目時間数： 150 時間 | | 授業の種類： 講義 ・ 演習 ・ 実習 | |
| 必修・選択 の別： <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択 | 配当学年： 2 | 開講時期： <input checked="" type="checkbox"/> 前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・集中 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 様々な犬種で実習を行い、ケガ事故の無いように安全に行うことと、生体実習をスムーズに行えるようになるのがねらい。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 基礎となるグルーミング技術が身についている。 ② 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 ③ 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 ④ 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 ⑤ 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 犬のお手入れの必要性 ・ グルーミングの手順とやり方 ・ グルーミング犬種の全身カットと部分カット <p>【授業における達成課題】 担当している犬を仕上げる</p> | | | |
| | 使用教材 | 出版社 | |
| | | | |
| 【教員担当の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 | | | |
| 【内容】 トリマーとしてドッグサロンに勤務経験がある | | | |
| 【評価とその内容】 授業（実習）への取組み姿勢、授業出席率80%以上 | | | |
| 【必要な予習などの内容】 次回の授業に向けて、担当する犬のカルテを作成する | | | |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 教員名 |
|-----------------------|---------------|----------------------|-------|
| トリミング学 (グルーミング実習Ⅱ) | | 150 | 藤原 侑美 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる | |
| 2 回 | | | |
| 3 回 | | | |
| 4 回 | | | |
| 5 回 | | | |
| 6 回 | | | |
| 7 回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる | |
| 8 回 | | | |
| 9 回 | | | |
| 10 回 | | | |
| 11 回 | | | |
| 12 回 | | | |
| 13 回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる | |
| 14 回 | | | |
| 15 回 | | | |
| 16 回 | | | |
| 17 回 | | | |
| 18 回 | | | |
| 19 回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる | |
| 20 回 | | | |
| 21 回 | | | |
| 22 回 | | | |
| 23 回 | | | |
| 24 回 | | | |
| 25 回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる | |
| 26 回 | | | |
| 27 回 | | | |
| 28 回 | | | |
| 29 回 | | | |
| 30 回 | | | |
| 31 回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる | |
| 32 回 | | | |
| 33 回 | | | |
| 34 回 | | | |
| 35 回 | | | |
| 36 回 | | | |
| 37 回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる | |
| 38 回 | | | |
| 39 回 | | | |
| 40 回 | | | |
| 41 回 | | | |
| 42 回 | | | |
| 43 回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる | |
| 44 回 | | | |
| 45 回 | | | |
| 46 回 | | | |
| 47 回 | | | |
| 48 回 | | | |
| 49 回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる | |
| 50 回 | | | |
| 51 回 | | | |
| 52 回 | | | |
| 53 回 | | | |
| 54 回 | | | |
| 55 回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる | |
| 56 回 | | | |
| 57 回 | | | |
| 58 回 | | | |
| 59 回 | | | |
| 60 回 | | | |
| 61 回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる | |
| 62 回 | | | |
| 63 回 | | | |
| 64 回 | | | |
| 65 回 | | | |
| 66 回 | | | |
| 67 回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる | |
| 68 回 | | | |
| 69 回 | | | |
| 70 回 | | | |
| 71 回 | | | |
| 72 回 | | | |
| 73 回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる | |
| 74 回 | | | |
| 75 回 | | | |
| 76 回 | | | |
| 77 回 | | | |
| 78 回 | | | |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|------|---------------|----------------------|
| 79回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる |
| 80回 | | |
| 81回 | | |
| 82回 | | |
| 83回 | | |
| 84回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる |
| 85回 | | |
| 86回 | | |
| 87回 | | |
| 88回 | | |
| 89回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる |
| 90回 | | |
| 91回 | | |
| 92回 | | |
| 93回 | | |
| 94回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる |
| 95回 | | |
| 96回 | | |
| 97回 | | |
| 98回 | | |
| 99回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる |
| 100回 | | |
| 101回 | | |
| 102回 | | |
| 103回 | | |
| 104回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる |
| 105回 | | |
| 106回 | | |
| 107回 | | |
| 108回 | | |
| 109回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる |
| 110回 | | |
| 111回 | | |
| 112回 | | |
| 113回 | | |
| 114回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる |
| 115回 | | |
| 116回 | | |
| 117回 | | |
| 118回 | | |
| 119回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる |
| 120回 | | |
| 121回 | | |
| 122回 | | |
| 123回 | | |
| 124回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる |
| 125回 | | |
| 126回 | | |
| 127回 | | |
| 128回 | | |
| 129回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる |
| 130回 | | |
| 131回 | | |
| 132回 | | |
| 133回 | | |
| 134回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる |
| 135回 | | |
| 136回 | | |
| 137回 | | |
| 138回 | | |
| 139回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる |
| 140回 | | |
| 141回 | | |
| 142回 | | |
| 143回 | | |
| 144回 | 生体実習 | 各グループで担当の犬を仕上げる事ができる |
| 145回 | | |
| 146回 | | |
| 147回 | | |
| 148回 | | |
| 149回 | | |
| 150回 | | |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | |
|---|---|------------|
| 科目名 トリミング学 (犬種総論Ⅱ) | 教員名 小松 里菜 | |
| 科目時間数 : 20 時間 | 授業の種類 : <u>講義</u> ・ 演習 ・ 実習 | |
| 必修・選択の別 : <u>必修</u> ・ 選択 | 配当学年 : 2 開講時期 : <u>前期</u> ・ 後期 ・ 集中 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 人気犬種1～20位の適性飼育を理解する。 一般飼い主に適切なアドバイスができる。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 <u>3</u> 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 <u>4</u> 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 人気犬種1～20位の飼育上の注意点、行動特性、お手入れ方法、しつけ方法、病気について理解する。</p> <p>【授業における達成課題】 筆記試験で正答率60%以上。</p> | | |
| | 使用教材 | 出版社 |
| 学生 | プリント等 | |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無</p> <p>【内 容】 ペットショップでトリマーとしての勤務経験がある。</p> | | |
| <p>【評価方法とその内容】 筆記試験において正答率60%以上、授業出席率80%以上。</p> | | |
| <p>【必要な予習等の内容】 配布資料（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。</p> | | |

| 科目名 トリミング学Ⅱ(犬種総論Ⅱ) | | 科目時間総数 20 時間 | 教員名 小松 里菜 |
|-----------------------|---------------|--|--------------|
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 回 | 1年次の復習 | JKC人気犬種の犬種名を答える。昨年度の犬畜登録数を確認し、人気犬種を理解する | |
| 2 回 | 1年次の復習 | JKC第1～10グループについて、どんな特性を持った集まりかを理解する。 | |
| 3 回 | 犬の管理 | モーターパターンを理解し、犬の管理について知識を増やす | |
| 4 回 | 人気犬種について | 人気犬種1～2位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する | |
| 5 回 | 人気犬種について | 人気犬種3～4位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する | |
| 6 回 | 人気犬種について | 人気犬種5位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する。1～5位について復習する。 | |
| 7 回 | 人気犬種について | 人気犬種6～7位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する | |
| 8 回 | 人気犬種について | 人気犬種8～9位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する | |
| 9 回 | 人気犬種について | 人気犬種10位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する | |
| 10 回 | 復習 | 人気犬種1～10位について、復習する。 | |
| 11 回 | 人気犬種について | 試験解説 人気犬種11位の飼育方法について理解する。 | |
| 12 回 | 人気犬種について | 人気犬種12～13位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する | |
| 13 回 | 人気犬種について | 人気犬種14～15位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する。 | |
| 14 回 | 復習 | 人気犬種1～15位まで復習する。 | |
| 15 回 | 人気犬種について | 人気犬種16～17位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する | |
| 16 回 | 人気犬種について | 人気犬種18～19位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する | |
| 17 回 | 人気犬種について | 人気犬種20位の飼育方法、行動特性、お手入れの方法、しつけ方法、病気を理解する | |
| 18 回 | 復習 | 人気犬種1～16位まで復習する。 | |
| 19 回 | 人気犬種について | 犬種の毛色について、1年生の復習と最近の流行について知る。 | |
| 20 回 | 今後について | 現代の人気犬種の傾向について理解する。 | |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | |
|---|---|
| 科目名 トリミング学 (トリミング実習Ⅱ) | 教員名 小倉 雅美 |
| 科目時間数: 300 時間 | 授業の種類: 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u> |
| 必修・選択の別: <u>必修</u> ・選択 | 配当学年: 2 開講時期: <u>前期</u> <u>後期</u> ・集中 |
| <p>【授業の目的・ねらい】 造形美術の応用として、実習を通して犬を1頭仕上げるができる。ハサミやクリッパーなどのトリミング技術の基礎を学び行動することができる。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 基礎となるグルーミング技術が身についている。 ② 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 ③ 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 ④ 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 ⑤ 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 ・ 犬のお手入れの必要性 ・ 道具の種類と使用用途 ・ トリミングの手順とやり方</p> <p>【授業における達成課題】 トイプードルのペットカットやシーザー、マルチーズ、シュナウザー、MIXのカット犬のペットカットを1人で1頭仕上げる</p> | |
| | 使用教材 |
| 学生用 | ドッググルーマースプロフェッショナルワークブック |
| | 出版社 |
| | インターズー |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 <u>有</u> ・ 無</p> <p>【内容】 トリマーとしてトリミングサロンに勤務経験がある</p> <p>【評価とその内容】 授業（実習）での取り組み姿勢、実技試験合格、授業出席率80%以上</p> <p>【必要な予習などの内容】 次回に向けて、受付カルテの作成とカットの復習を行う。</p> | |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 時間 | 教員名 |
|----------------------|---------------|----------------------------|----|-------|
| トリミング学 (トリミング実習Ⅱ) | | 300 | | 小倉 雅美 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | | |
| 1 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 2 回 | | | | |
| 3 回 | | | | |
| 4 回 | | | | |
| 5 回 | | | | |
| 6 回 | | | | |
| 7 回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で1頭仕上げるができる。 | | |
| 8 回 | | | | |
| 9 回 | | | | |
| 10 回 | | | | |
| 11 回 | | | | |
| 12 回 | | | | |
| 13 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 14 回 | | | | |
| 15 回 | | | | |
| 16 回 | | | | |
| 17 回 | | | | |
| 18 回 | | | | |
| 19 回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で1頭仕上げるができる。 | | |
| 20 回 | | | | |
| 21 回 | | | | |
| 22 回 | | | | |
| 23 回 | | | | |
| 24 回 | | | | |
| 25 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 26 回 | | | | |
| 27 回 | | | | |
| 28 回 | | | | |
| 29 回 | | | | |
| 30 回 | | | | |
| 31 回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で1頭仕上げるができる。 | | |
| 32 回 | | | | |
| 33 回 | | | | |
| 34 回 | | | | |
| 35 回 | | | | |
| 36 回 | | | | |
| 37 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 38 回 | | | | |
| 39 回 | | | | |
| 40 回 | | | | |
| 41 回 | | | | |
| 42 回 | | | | |
| 43 回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で1頭仕上げるができる。 | | |
| 44 回 | | | | |
| 45 回 | | | | |
| 46 回 | | | | |
| 47 回 | | | | |
| 48 回 | | | | |
| 49 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 50 回 | | | | |
| 51 回 | | | | |
| 52 回 | | | | |
| 53 回 | | | | |
| 54 回 | | | | |
| 55 回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で1頭仕上げるができる。 | | |
| 56 回 | | | | |
| 57 回 | | | | |
| 58 回 | | | | |
| 59 回 | | | | |
| 60 回 | | | | |
| 61 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 62 回 | | | | |
| 63 回 | | | | |
| 64 回 | | | | |
| 65 回 | | | | |
| 66 回 | | | | |
| 67 回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で1頭仕上げるができる。 | | |
| 68 回 | | | | |
| 69 回 | | | | |
| 70 回 | | | | |
| 71 回 | | | | |
| 72 回 | | | | |
| 73 回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる | | |
| 74 回 | | | | |
| 75 回 | | | | |
| 76 回 | | | | |
| 77 回 | | | | |
| 78 回 | | | | |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|------|---------------|----------------------------------|
| 79回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で1頭仕上げるができる。 |
| 80回 | | |
| 81回 | | |
| 82回 | | |
| 83回 | | |
| 84回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる |
| 85回 | | |
| 86回 | | |
| 87回 | | |
| 88回 | | |
| 89回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で1頭仕上げるができる。 |
| 90回 | | |
| 91回 | | |
| 92回 | | |
| 93回 | | |
| 94回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、1頭仕上げるができる |
| 95回 | | |
| 96回 | | |
| 97回 | | |
| 98回 | | |
| 99回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で1頭仕上げるができる。 |
| 100回 | | |
| 101回 | | |
| 102回 | | |
| 103回 | | |
| 104回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる |
| 105回 | | |
| 106回 | | |
| 107回 | | |
| 108回 | | |
| 109回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる。 |
| 110回 | | |
| 111回 | | |
| 112回 | | |
| 113回 | | |
| 114回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる |
| 115回 | | |
| 116回 | | |
| 117回 | | |
| 118回 | | |
| 119回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる。 |
| 120回 | | |
| 121回 | | |
| 122回 | | |
| 123回 | | |
| 124回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる |
| 125回 | | |
| 126回 | | |
| 127回 | | |
| 128回 | | |
| 129回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる。 |
| 130回 | | |
| 131回 | | |
| 132回 | | |
| 133回 | | |
| 134回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる |
| 135回 | | |
| 136回 | | |
| 137回 | | |
| 138回 | | |
| 139回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる。 |
| 140回 | | |
| 141回 | | |
| 142回 | | |
| 143回 | | |
| 144回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる |
| 145回 | | |
| 146回 | | |
| 147回 | | |
| 148回 | | |
| 149回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる。 |
| 150回 | | |
| 151回 | | |
| 152回 | | |
| 153回 | | |
| 154回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる。 |
| 155回 | | |
| 156回 | | |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|------|---------------|------------------------------------|
| 157回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げることができる |
| 158回 | | |
| 159回 | | |
| 160回 | | |
| 161回 | | |
| 162回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げることができる。 |
| 163回 | | |
| 164回 | | |
| 165回 | | |
| 166回 | | |
| 167回 | 生体実習 | TPのトリミングを2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げることができる |
| 168回 | | |
| 169回 | | |
| 170回 | | |
| 171回 | | |
| 172回 | 生体実習 | TP以外の犬種を2人で作業し、4時間以内に1頭仕上げることができる。 |
| 173回 | | |
| 174回 | | |
| 175回 | | |
| 176回 | | |
| 177回 | 生体実習 | TPのトリミングを1人で作業し、1頭仕上げることができる |
| 178回 | | |
| 179回 | | |
| 180回 | | |
| 181回 | | |
| 182回 | 生体実習 | TP以外の犬種を1人で作業し、1頭仕上げることができる。 |
| 183回 | | |
| 184回 | | |
| 185回 | | |
| 186回 | | |
| 187回 | 生体実習 | TPのトリミングを1人で作業し、1頭仕上げることができる |
| 188回 | | |
| 189回 | | |
| 190回 | | |
| 191回 | | |
| 192回 | 生体実習 | TP以外の犬種を1人で作業し、1頭仕上げることができる。 |
| 193回 | | |
| 194回 | | |
| 195回 | | |
| 196回 | | |
| 197回 | 生体実習 | TPのトリミングを1人で作業し、1頭仕上げることができる |
| 198回 | | |
| 199回 | | |
| 200回 | | |
| 201回 | | |
| 202回 | 生体実習 | TP以外の犬種を1人で作業し、1頭仕上げることができる。 |
| 203回 | | |
| 204回 | | |
| 205回 | | |
| 206回 | | |
| 207回 | 生体実習 | TPのトリミングを1人で作業し、1頭仕上げることができる |
| 208回 | | |
| 209回 | | |
| 210回 | | |
| 211回 | | |
| 212回 | 生体実習 | TP以外の犬種を1人で作業し、1頭仕上げることができる。 |
| 213回 | | |
| 214回 | | |
| 215回 | | |
| 216回 | | |
| 217回 | 生体実習 | TPのトリミングを1人で作業し、1頭仕上げることができる |
| 218回 | | |
| 219回 | | |
| 220回 | | |
| 221回 | | |
| 222回 | 生体実習 | TP以外の犬種を1人で作業し、1頭仕上げることができる。 |
| 223回 | | |
| 224回 | | |
| 225回 | | |
| 226回 | | |
| 227回 | 生体実習 | TPのトリミングを1人で作業し、1頭仕上げることができる |
| 228回 | | |
| 229回 | | |
| 230回 | | |
| 231回 | | |
| 232回 | 生体実習 | TPのトリミングを1人で作業し、1頭仕上げることができる |
| 233回 | | |
| 234回 | | |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|------|---------------|----------------------------------|
| 235回 | 生体実習 | TP以外の犬種を1人で作業し、1頭仕上げるができる。 |
| 236回 | | |
| 237回 | | |
| 238回 | | |
| 239回 | | |
| 240回 | | |
| 241回 | 生体実習 | TPのトリミングを1人で作業し、1頭仕上げるができる |
| 242回 | | |
| 243回 | | |
| 244回 | | |
| 245回 | | |
| 246回 | | |
| 247回 | 生体実習 | TP以外の犬種を1人で作業し、1頭仕上げるができる。 |
| 248回 | | |
| 249回 | | |
| 250回 | | |
| 251回 | | |
| 252回 | | |
| 253回 | 生体実習 | TPのトリミングを1人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる |
| 254回 | | |
| 255回 | | |
| 256回 | | |
| 257回 | | |
| 258回 | | |
| 259回 | 生体実習 | TP以外の犬種を1人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる。 |
| 260回 | | |
| 261回 | | |
| 262回 | | |
| 263回 | | |
| 264回 | | |
| 265回 | 生体実習 | TPのトリミングを1人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる |
| 266回 | | |
| 267回 | | |
| 268回 | | |
| 269回 | | |
| 270回 | | |
| 271回 | 生体実習 | TP以外の犬種を1人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる。 |
| 272回 | | |
| 273回 | | |
| 274回 | | |
| 275回 | | |
| 276回 | | |
| 277回 | 生体実習 | TPのトリミングを1人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる |
| 278回 | | |
| 279回 | | |
| 280回 | | |
| 281回 | | |
| 282回 | | |
| 283回 | 生体実習 | TP以外の犬種を1人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる。 |
| 284回 | | |
| 285回 | | |
| 286回 | | |
| 287回 | | |
| 288回 | | |
| 289回 | 生体実習 | TPのトリミングを1人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる |
| 290回 | | |
| 291回 | | |
| 292回 | | |
| 293回 | | |
| 294回 | | |
| 295回 | 生体実習 | TP以外の犬種を1人で作業し、4時間以内に1頭仕上げるができる。 |
| 296回 | | |
| 297回 | | |
| 298回 | | |
| 299回 | | |
| 300回 | | |

授業計画表

ペット美容トリマー

学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | |
|---|---|-----|
| 科目名 トリミング学 (猫種総論Ⅱ) | 教員名 高坂 恵梨香 | |
| 科目時間数： 20 時間 | 授業の種類： <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習 | |
| 必修・選択の別： <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択 | 配当学年 2 開講時期： 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期・集中 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 ペットショップで扱う猫種を判別できるようになるのがねらい</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 <input checked="" type="checkbox"/> 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 猫の種類と飼育方法などを理解する</p> <p>【授業における達成課題】 筆記試験において正答率60%以上</p> | | |
| | 使用教材 | 出版社 |
| 学生用 | 猫の教科書 | 緑書房 |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p> <p>【内容】 動物病院にて動物看護師として勤務経験がある</p> <p>【評価とその内容】 筆記試験において正答率80%以上、授業出席率90%以上</p> <p>【必要な予習などの内容】 次回の授業に向けて、教科書に目を通し予習することを指示し実行する</p> | | |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 教員名 |
|---------------|---------------|-------------------------------------|--------|
| トリミング学(猫種総論Ⅱ) | | 20 | 高坂 恵梨香 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 | オリエンテーション | 授業の目的、到達目標を説明する。 | |
| 2 | 復習 | 猫種総論Ⅰの内容を振り返り、復習をする。 | |
| 3 | ソマリ | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 4 | ソマリ | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 5 | バーマン | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 6 | バーマン | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 7 | ターキッシュ・バン | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 8 | ターキッシュ・バン | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 9 | ラガマフィン | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 10 | ラガマフィン | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 11 | ペルシャ | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 12 | ペルシャ | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 13 | 復習 | 今までの内容を振り返り、復習する。 | |
| 14 | サイアミーズ | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 15 | サイアミーズ | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 16 | オリエンタル | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 17 | オリエンタル | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 18 | エジプシャンマウ | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 19 | エジプシャンマウ | 発祥年代・原産国・祖先・体重・体型・毛質・毛色・目色・特徴を理解する。 | |
| 20 | まとめ | 猫種総論Ⅱの確認テストを行い理解を深める。 | |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | |
|---|---|-----|
| 科目名 しつけトレーニング学Ⅱ (犬の行動学Ⅱ) | 教員名 三上 祐太 | |
| 科目時間数 : 20 時間 | 授業の種類 : <input checked="" type="radio"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 | |
| 必修・選択の別 : <input checked="" type="radio"/> 必修 ・ 選択 | 配当学年 : 2 開講時期 : <input checked="" type="radio"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 イヌの問題行動の改善の対処と問題行動の予防の知識を身に付ける。 飼い主の問題行動の悩みについて、悪化させないアドバイスが出来るようになる。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 <input checked="" type="radio"/> 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 <input checked="" type="radio"/> 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 犬の問題行動の種類、問題行動の改善の流れ、問題行動の改善方法、問題行動の予防</p> <p>【授業における達成課題】 筆記試験で正答率60%以上。</p> | | |
| | 使用教材 | 出版社 |
| 学生用 | プリント等 | |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p>【内 容】</p> | | |
| <p>【評価方法とその内容】 筆記試験で正答率60%以上、授業出席率80%以上。</p> | | |
| <p>【必要な予習等の内容】 配布資料（プリント等）の復習をして、次回の授業に参加するように指示をして実行する。</p> | | |

| 科目名 しつけトレーニング学Ⅱ(Ⅱ犬の行動学Ⅱ) | | 科目時間総数 20 | 時間 | 教員名 三上 祐太 |
|-----------------------------|---------------|--|----|--------------|
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | | |
| 1 | 問題行動について | ペットの問題行動とは何かを学ぶ。ペットの問題行動に対処ができない場合のその後を知る。 | | |
| 2 | 問題行動について | 問題行動の種類を2種類理解し、分別することができる。 | | |
| 3 | 問題行動について | 問題行動が起きる原因を理解する。 | | |
| 4 | 問題行動について | 問題行動の改善の流れを理解する。 | | |
| 5 | 問題行動について | 犬の適切な飼育方法について復習をする。 | | |
| 6 | 問題行動について | 犬の適切な行動管理について復習をする。 | | |
| 7 | 問題行動について | 犬の社会化期を復習する。社会化トレーニングで得られる効果を学ぶ。 | | |
| 8 | 問題行動について | 犬の食事に問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。 | | |
| 9 | 問題行動について | 犬の運動に問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。 | | |
| 10 | 問題行動について | 犬の環境に問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。 | | |
| 11 | 問題行動について | 犬の社会的な関わりに問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。 | | |
| 12 | 問題行動について | 犬の性的欲求に問題がある場合に起る問題行動について学ぶ。 | | |
| 13 | 問題行動について | 犬の行動管理と犬の行動形成の違いを知る。 | | |
| 14 | 問題行動について | 犬の吠えに関する対処の仕方を学ぶ。 | | |
| 15 | 問題行動について | 犬の噛みつきに関する対処の仕方を学ぶ。 | | |
| 16 | 問題行動について | 他人や他犬を怖がることに関する対処の仕方を学ぶ。 | | |
| 17 | 問題行動について | トイレの失敗に関する対処の仕方を学ぶ。 | | |
| 18 | 問題行動について | 留守番に関する対処の仕方を学ぶ。 | | |
| 19 | 問題行動について | 拾い食いに関する対処の仕方を学ぶ。 | | |
| 20 | まとめ | 今までの復習をする。試験に向けて説明をする。 | | |

授業計画表

ペット美容トリマー 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | |
|--|--------------------------------------|-----|
| 科目名 ペットビジネス教養Ⅱ (社会人教養Ⅱ) | 教員名 岩泉 美和子 | |
| 科目時間数: 20 時間 | 授業の種類: 講義 ・ 演習 ・ 実習 | |
| 必修・選択の別: 必修・選択 | 配当学年: 2 開講時期: 前期・後期・集中 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 社会で活躍するために必要な能力の向上を目的とする。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 アサーション、伝える力、聴く力、質問力、コーチング、仕事の基本を身に付ける。</p> <p>【授業における達成課題】 筆記試験での正答が60%以上。</p> | | |
| | 使用教材 | 出版社 |
| 学生 | プリント等 | |
| <p>【教員担当の実務経験の有無】 有 ・ 無</p> <p>【内 容】 金融機関関連企業等に勤務経験がある。</p> | | |
| <p>【評価方法とその内容】 筆記試験において60点以上、授業出席率90%以上。</p> | | |
| <p>【必要な予習等の内容】 次回の授業に向けて、プリントを活用して復習することを指示して実行する。</p> | | |

| 科目名 ペットビジネス教養ⅡⅠ(社会人) | | 科目時間総数 20 | 時間 | 教員名 岩泉 美和子 |
|-------------------------|---------------|--------------------------|----|---------------|
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | | |
| 1 | 目標設定 | 1年の目標設定をする | | |
| 2 | アサーション | 自分も他人も大切にしたい自己表現の考え方と方法 | | |
| 3 | 伝える力 | 心を動かす伝え方 | | |
| 4 | 聴く力 | 信頼関係を築く聴き方 | | |
| 5 | 問いかける力 | 質問力を磨く | | |
| 6 | コーチング | コーチングの基本と目標設定 | | |
| 7 | コーチング | コーチング実践 目標達成フレームワークとメタ成果 | | |
| 8 | コーチング | 効果的な質問をする | | |
| 9 | コーチング | 現状改善 | | |
| 10 | コーチング | 行動傾向・対人スタイル分析 | | |
| 11 | コーチング | 体験学習 課題解決について | | |
| 12 | コーチング | 体験学習 合意形成について | | |
| 13 | 仕事の基本 | 仕事の基本的なすすめ方 | | |
| 14 | 仕事の基本 | 社会人と学生の違い 社会人としての自覚を持つ | | |
| 15 | 仕事の基本 | 正しい敬語と言葉づかい | | |
| 16 | 仕事の基本 | 正しい電話対応 | | |
| 17 | 仕事の基本 | 訪問から帰るまでの流れ | | |
| 18 | 仕事の基本 | ビジネス文書の作成 | | |
| 19 | 仕事の基本 | 接客教養ライセンスに向けてのペアワーク | | |
| 20 | 振り返り | 接客ライセンスの振り返り | | |

授業計画表

ペット美容トリマー科 学科

盛岡ペットワールド専門学校

| | | |
|---|--|-----|
| 科目名 ペットビジネス教養Ⅱ (学校行事・資格) | 教員名 小松 里菜 | |
| 科目時間数 : 80 時間 | 授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ 実習 | |
| 必修・選択の別 : 必修・選択 | 配当学年 : 2 開講時期 : 前期・後期・集中 | |
| <p>【授業の目的・ねらい】 学校生活を実りあるものにするための考え方を学ぶ。 社会人に必要となる社会人基礎力を磨き、社会で働く心構えを身に付ける。 上級学生としての心構えを持ち、後輩の指導をする能力を身に付ける。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 基礎となるグルーミング技術が身についている。 2 飼い主のニーズ、ペットの実用的なスタイリングに対応できる能力が身についている。 3 飼い主、ペットの生活について総合的にアドバイスできるレベルが身についている。 4 人や動物の気持ちを考えて、コミュニケーションが取れる。 5 働くという事への心構えができています。 <p>【授業全体の内容の概要】 オリエンテーション、基礎学力、学校行事、国内研修、損害保険募集人資格、接客コンテスト、スポーツ大会、ボランティア活動</p> <p>【授業における達成課題】 学校行事等を通じて、目標達成やその過程を経験して日常生活や就職後の活動で活躍できる。</p> | | |
| | 使用教材 | 出版社 |
| 学生用 | プリント等 | |
| 【教員担当の実務経験の有無】 有 ・ 無 | | |
| 【内 容】 ドッグカフェにてトリマー兼スタッフとして勤務経験がある | | |
| 【評価方法とその内容】 受講姿勢と取組み成果、レポート、授業出席率80%以上。 | | |
| 【必要な予習等の内容】 行事等について、事前に担当分野の内容を打ち合わせをして授業に参加することを指示して実行する。 | | |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 教員名 |
|---------------------|---------------|--------------|-------|
| ペットビジネス教養Ⅱ(学校行事・資格) | | 80 | 小松 里菜 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 2 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 3 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 4 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 5 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 6 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 7 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 8 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 9 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 10 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 11 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 12 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 13 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 14 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 15 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 16 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 17 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 18 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 19 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 20 | 行事 | ドッグフェスティバル準備 | |
| 21 | 行事 | ドッグフェスティバル | |
| 22 | 行事 | ドッグフェスティバル | |
| 23 | 行事 | ドッグフェスティバル | |
| 24 | 行事 | ドッグフェスティバル | |
| 25 | 行事 | ドッグフェスティバル | |
| 26 | 行事 | ドッグフェスティバル | |
| 27 | 行事 | ドッグフェスティバル | |
| 28 | 行事 | ドッグフェスティバル | |
| 29 | 行事 | ドッグフェスティバル | |
| 30 | 行事 | ドッグフェスティバル | |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|---------|---------------|-------------------|
| 31 回 | 行事 | ドッグフェスティバル 振り返り反省 |
| 32 回 | 行事 | スポーツ大会 |
| 33 回 | 行事 | スポーツ大会 |
| 34 回 | 行事 | スポーツ大会 |
| 35 回 | 行事 | スポーツ大会 |
| 36 回 | 行事 | スポーツ大会 |
| 37 回 | 行事 | スポーツ大会 |
| 38 回 | 行事 | スポーツ大会 振り返り反省 |
| 39 回 | 資格検定 | 損害保険募集人資格 |
| 40 回 | 資格検定 | 損害保険募集人資格 |
| 41 回 | 資格検定 | 損害保険募集人資格 |
| 42 回 | 資格検定 | 損害保険募集人資格 |
| 43 回 | 資格検定 | 損害保険募集人資格 |
| 44 回 | 資格検定 | 損害保険募集人資格 |
| 45 回 | 資格検定 | 損害保険募集人資格 |
| 46 回 | 資格検定 | 損害保険募集人資格 |
| 47 回 | 資格検定 | 損害保険募集人資格 |
| 48 回 | 資格検定 | 損害保険募集人資格 |
| 49 回 | 行事 | 学園祭準備 |
| 50 回 | 行事 | 学園祭準備 |
| 51 回 | 行事 | 学園祭準備 |
| 52 回 | 行事 | 学園祭準備 |
| 53 回 | 行事 | 学園祭準備 |
| 54 回 | 行事 | 学園祭 |
| 55 回 | 行事 | 学園祭 |
| 56 回 | 行事 | 学園祭 |
| 57 回 | 行事 | 学園祭 |
| 58 回 | 行事 | 学園祭 |
| 59 回 | 行事 | 学園祭 |
| 60 回 | 行事 | 学園祭 振り返り反省 |

| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 |
|---------|---------------|-------------|
| 61 回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 62 回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 63 回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 64 回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 65 回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 66 回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 67 回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 68 回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 69 回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 70 回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 71 回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 72 回 | 特別授業 | 国内研修 |
| 73 回 | 行事 | MCLスポーツ大会 |
| 74 回 | 行事 | MCLスポーツ大会 |
| 75 回 | 行事 | MCLスポーツ大会 |
| 76 回 | 行事 | MCLスポーツ大会 |
| 77 回 | 行事 | MCLスポーツ大会 |
| 78 回 | 行事 | MCLスポーツ大会 |
| 79 回 | 振り返り | 今までの振り返り |
| 80 回 | 今後の目標 | 今後の目標決め |

| 科目名 | | 科目時間総数 | 教員名 |
|-------------|-------------------|--|-------|
| インターンシップ実習Ⅱ | | 150 時間 | 小松 里菜 |
| 時間数 | 教育に含むべき事項・テーマ | 主な学習内容と到達目標 | |
| 1 回 | インターンシップ予定先への受入交渉 | インターンシップ予定先への受入について、電話で交渉をする。 | |
| 2 回 | インターンシップの実施の目標設定 | インターンシップの目的や取り組みについて理解し上で、実習先や目標を設定する。 | |
| 3 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 4 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 5 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 6 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 7 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 8 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 9 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 10 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 11 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 12 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 13 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 14 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 15 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 16 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 17 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 18 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 19 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 20 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 21 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 22 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 23 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 24 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 25 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 26 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 27 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 28 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 29 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |
| 30 回 | インターンシップ(職場実習) | 職場での実習により、具体的な仕事内容を理解する。 | |

